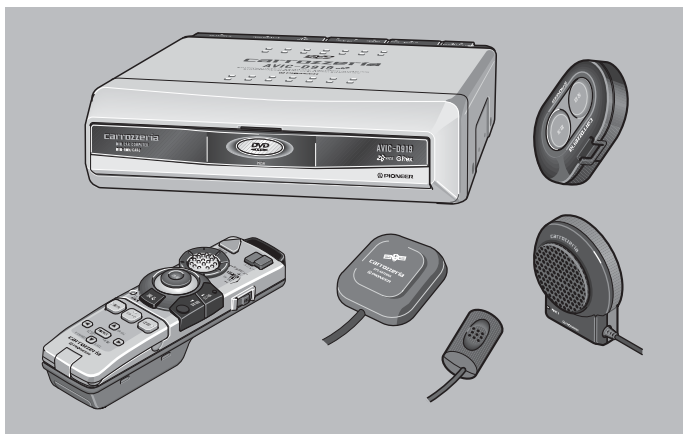


AVIC-D919

取付説明書



エコマーク認定の再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

© パイオニア株式会社 1998

< 98E00F0R01 > < CRA2578-A >

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

作業の進めかた

① はじめに

接続・取り付け部品を
確認する ——— 2ページ
製品の配置を考える ——— 4ページ

② 接続する

接続の前に知ってほしいこと ——— 5ページ
接続する ——— 8ページ

③ 取り付ける

取り付けの前に
知ってほしいこと ——— 24ページ
それぞれのユニットを
取り付ける ——— 25ページ

④ 接続・取り付けが終わったら

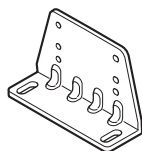
接続の確認と
ナビゲーションの設定を行う — 42ページ

接続・取り付け部品を確認する

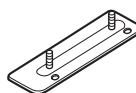
ナビゲーション本体関係



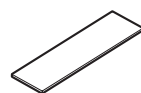
① ナビゲーション本体 × 1



② 取付アングル × 2



③ 取付ベース × 2



④ 粘着テープ × 2

⑤ 蝶ナット
(6 mm) × 4⑥ 座付きネジ
(4 × 8 mm) × 4⑦ タッピングネジ
(6 × 16 mm) × 4

受光部付きスピーカー関係



⑧ 受光部付きスピーカー × 1

⑨ 両面テープ
(45 × 30 mm) × 1

GPS アンテナ関係



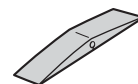
⑩ GPS アンテナ × 1



⑪ 金属シート × 1



⑫ クランパー × 5

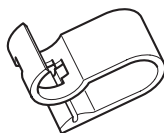


⑬ 防水パッド × 1

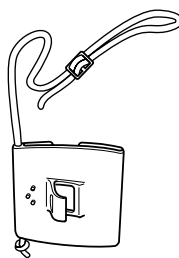
マイク関係



⑭ マイク × 1



⑮ マイククリップ × 1



⑯ マイクホルダー × 1

⑰ 両面テープ
(20 × 16 mm) × 1

⑱ クランパー × 5

音声認識コントローラー関係



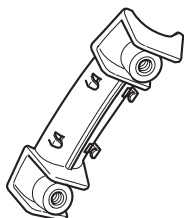
⑱ 音声認識
コントローラー × 1



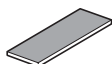
⑳ リチウム電池
(CR2032) × 1



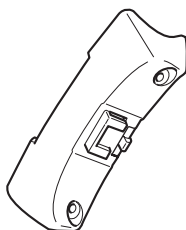
㉒ 六角穴付きネジ
(3 × 6 mm) × 2



㉑ インナーホルダー
× 1



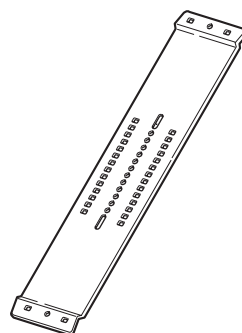
㉓ マジックテープ 大
(やわらかい方) × 1



㉒ アウターホルダー
× 1



㉔ マジックテープ 小
(かたい方) × 2

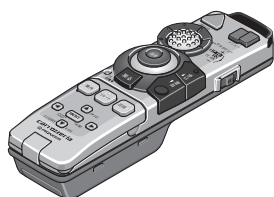


㉑ ベルト × 1



㉒ 六角レンチ × 1

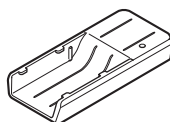
リモコン関係



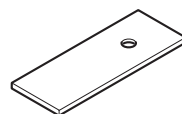
㉑ リモコン × 1



㉒ 単4形アルカリ
乾電池 (LR03) × 2

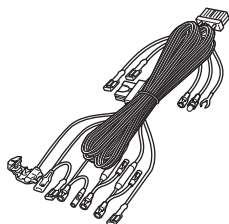


㉑ リモコンホルダー
× 1

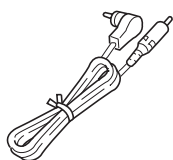


㉒ 両面テープ
(80 × 30 mm) × 1

コード関係



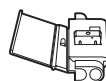
㉑ 電源コード × 1



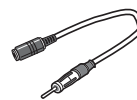
㉒ RCAビデオ
コード (黄)
(5 m) × 1



㉑ ピンクリード
線延長コード
(5 m) × 1



㉒ Uエレメント
コネクター
× 1

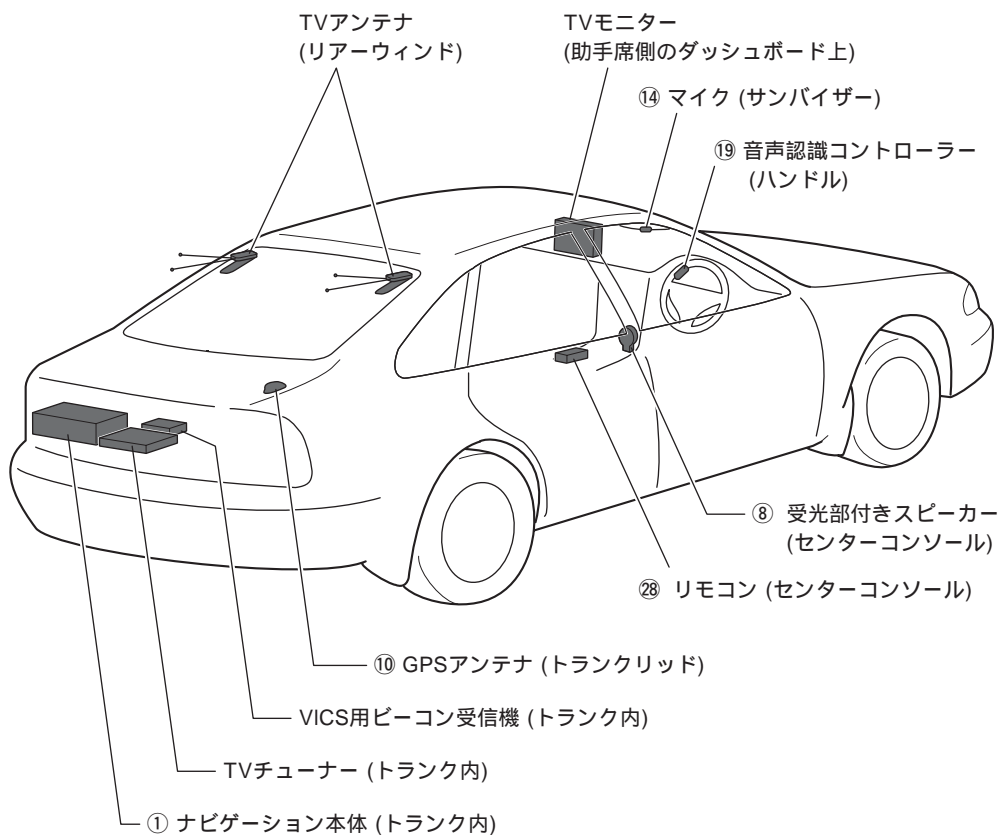


㉑ ミニプラグ
JASOプラグ
変換ケーブル
× 1

配置例

下図は、別売製品を組み合わせたときのシステム全体の配置例です。(数字が付いている製品が本機の構成です。)

実際は、組み合わせた製品と、ご自分のお車に合わせて、製品を配置してください。



メモ

配置場所によっては、別売の延長ケーブルや取付キットが必要になることがあります。

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

赤リード線 (アクセサリ電源) は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

青/黄リード線 (パーキングブレーキスイッチ) は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと一部の機能が使用できなくなります。

ピンクリード線の接続について

ピンクリード線 (車速信号入力) は、内蔵のジャイロセンサー用のリード線です。必ず接続してください。

ピンクリード線を接続しない場合は、簡易ハイブリッド方式 (☞ 『取扱説明書』 59ページ) で動作し、誤差が大きくなる場合があります。

ピンクリード線を車の車速検出回路に接続するのが困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」(別売) をお使いください。

別売のRGB変換アダプター「CD-216RGB」について

パイオニア製16ピンRGB入力TVモニターと組み合わせるときは

上記のTVモニターは「CD-216RGB」を使用して接続します。(詳しくは販売店にご相談ください。)

「TV-W818」と組み合わせるときは

受光部付きスピーカーを接続するときに「CD-216RGB」を使用します。

「TV-W818」と組み合わせたときは、受光部付きスピーカーは基本的には接続しません。(TVモニターが受光部付きスピーカーの働きをします。)しかし、取り付け位置の関係で、リモコンや音声認識コントローラーの信号がTVモニターのリモコン受光部にとどかないときは、受光部付きスピーカーを接続してください。(詳しい接続方法は☞ 「CD-216RGB」の『取扱説明書』の「TV-W808」と「AVIC-D909」の接続を参考にしてください。)

「他社TVモニター」と組み合わせるときは

他社のTVモニターと組み合わせたときは、「CD-216RGB」は接続しません。

「CD-216RGB」の受光部SEL. とSP SEL. スイッチについて

受光部SEL. スイッチによって、リモコンや音声認識コントローラーの信号を受ける受光部を、TVモニター(TV側)にするか、受光部付きスピーカー(受光部SP側)にするか選択できます。

SP SEL. スイッチで、ナビゲーションのガイド音声を出力するスピーカーを、TVモニターに内蔵のスピーカー(TV側)にするか、受光部付きスピーカー(受光部SP側)にするか選択できます。

組み合わせるTVモニターに合わせて切り換えてください。

(詳しくは☞ 「CD-216RGB」の『取扱説明書』)

接続の前に知ってほしいこと (つづき)

接続のポイント

本機と組み合わせるTVモニターについて

他社のモニターやCRT (ブラウン管) モニターはおすすめできません。画面横の表示が欠けたり、ノイズが出ることがあります。また5インチ未満のモニターでは、地図の解像度が悪くなります。

他社のモニターには、ビデオ入力端子の形状やビデオ入力信号の仕様 (入力レベルなど) が、本機と異なるものがあります。そのようなモニターと組み合わせる場合は変換コードが必要になりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

通常 (画面の縦横比が4:3) のTVを接続するときは、必ずナビゲーションの設定の [画面表示サイズ] を、[ワイド] から [ノーマル] に切り換えてください。[ノーマル] に切り換えないと、ナビゲーションの画面が正しく表示できません。

なお、[画面表示サイズ] は [設定を変える - 初期設定 - その他の初期設定] のメニューの中にあります。(☞ 45ページ)

接続するTVをモニター等によって画面がぼやけたように感じられる場合は、[インターレース] の [ON] [OFF] の切り換えを見やすい方にセットください。

なお、[インターレース] は [設定を変える - 初期設定 - その他の初期設定] のメニューの中にあります。(☞ 45ページ)

電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

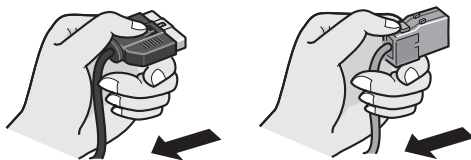
専用バス、20ピンRGB、光入出力の接続について

専用バス、20ピンRGB、光入出力の端子とケーブルは、同じ色同士を接続してください。(コネクタの接続部分が色分けされています。)

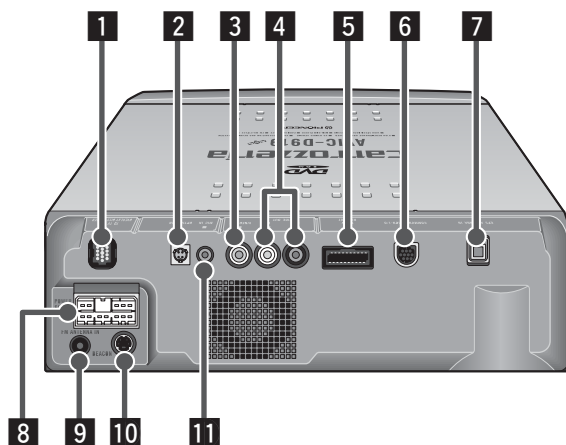
コネクタの着脱のしかた

コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクタ同士の色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。

コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



接続端子のなまえと働き



1 専用バス出力 (黒)

P side P 8.0型ワイド液晶TVパック「TV-W818」7型ワイドAVシステムTV「AVX-P707W」やオーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」の専用バス入力(青)と接続します。

2 光入力 (青)

オーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」の光出力(黒)と接続します。

3 RCAビデオ出力 (黄)

NTSC方式の映像信号が出力されます。付属のRCAビデオコードを使用して、組み合わせるTVモニターのビデオ入力端子と接続します。

4 RCAガイド音声出力 (白・赤)

ナビゲーションのガイド音声出力されます。ナビゲーションのガイド音声を、カーステレオのスピーカーからも出力したい場合に、マルチCD/MDコントロールDSPチューナーCDアンプ「DEH-P707」のガイド音声入力(黒)と接続します。

5 20ピンRGB出力 (黒)

RGB方式の映像信号やガイド音声などが出力されます。TVチューナーのRGB入力や付属の受光部付きスピーカーを接続します。

6 電話端子

別売の携帯電話用接続アダプター「CD-H60」を使用してデジタル携帯電話を接続します。

7 GPSアンテナ接続端子

付属のGPSアンテナを接続します。

8 電源

付属の電源コードを使用して、車のバッテリーから電源をもらいます。

9 VICS/FM多重アンテナ接続端子

VICS/FM多重放送を受信するためのアンテナを接続します。専用のアンテナを接続する方法、車載のアンテナを接続する方法、TVアンテナを接続する方法の、3つの接続方法があります。(22ページ)

10 ビーコン受信機接続端子

VICS用ビーコン受信機「ND-B2」を接続します。

11 マイク入力端子 (赤)

付属のマイクを接続します。

システムの接続 (1)

「TV-W818」と

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --

P side P 8.0型ワイド液晶TVバック
「TV-W818」TVチューナー

TVチューナー用


注：必ず「TV-W818」に付属のケーブルを使用してください。コネクターの色が違うケーブルは使用できません。(長さが足りないときは、別売の「CD-RGB30E」(3 m延長)をお使いください。)

長さが足りないときは、別売の「CD-IP150」(1.5 m)または「CD-IP600」(6 m)をお使いください。

専用バスケーブル
('TV-W818' 付属)

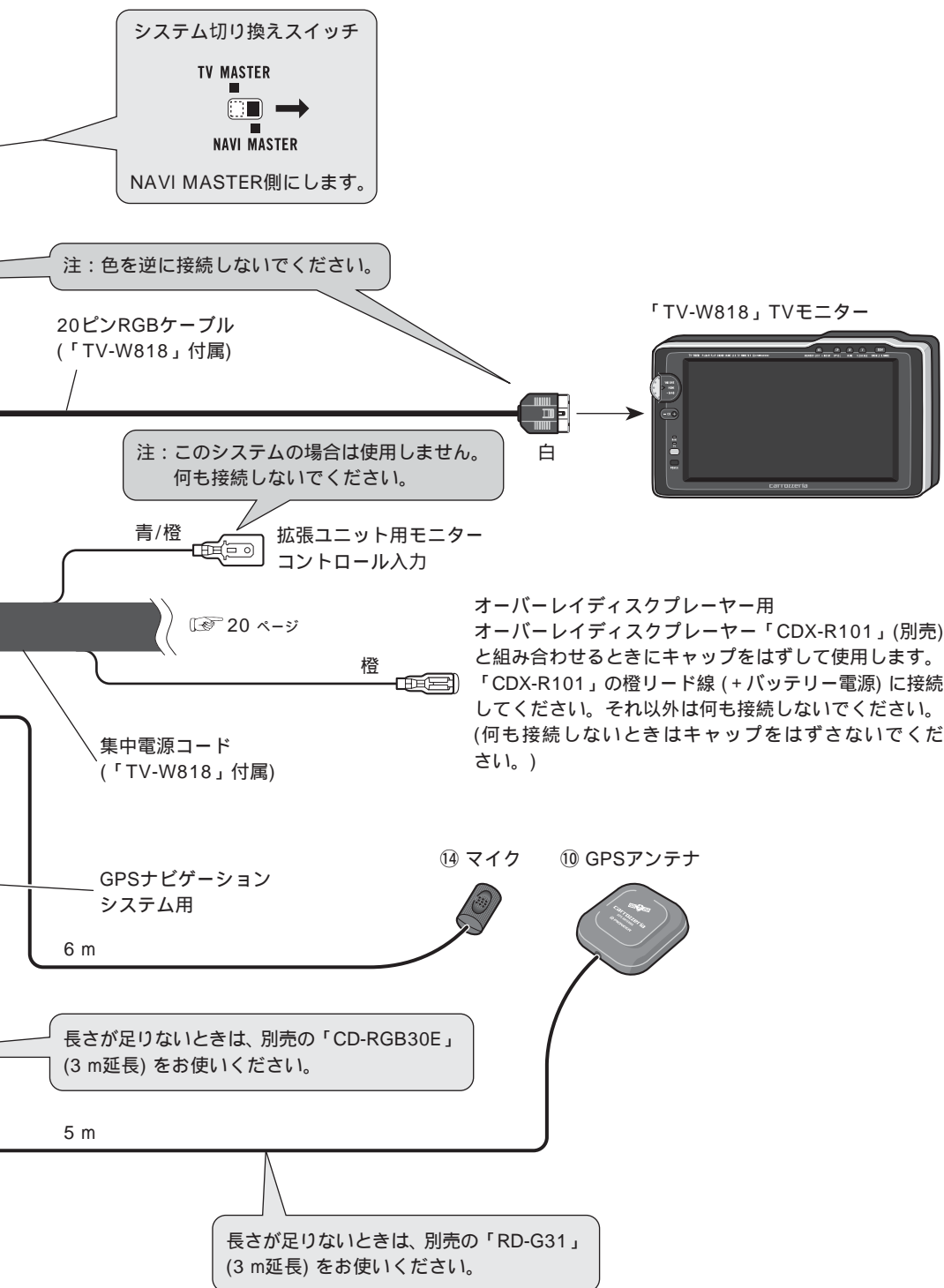
黒 50 cm 青

① ナビゲーション本体

VICS/FM多重放送を受信するためのアンテナを接続します。
(詳しくは  22ページ)

黒 50 cm

組み合わせた場合

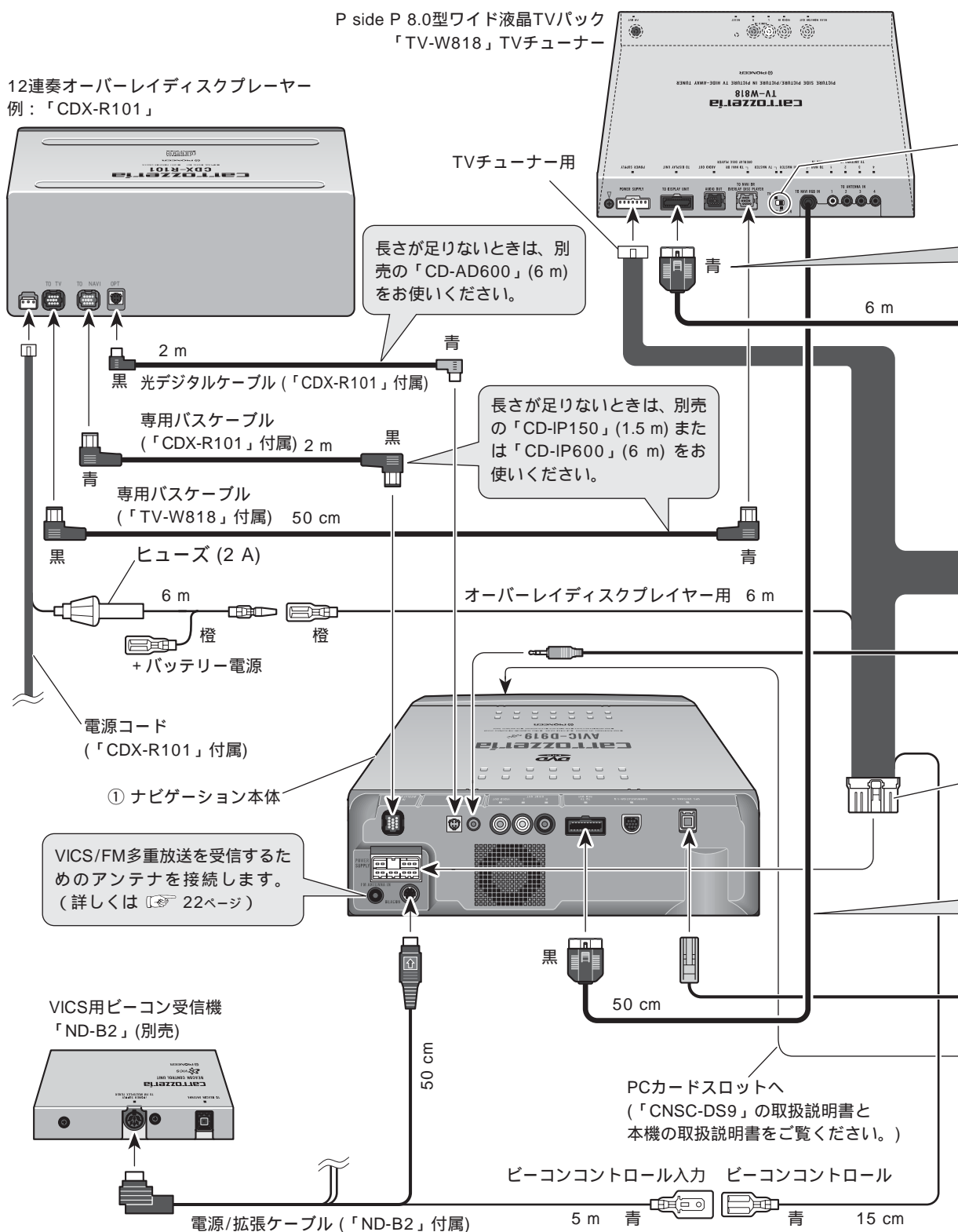


接続のしかた

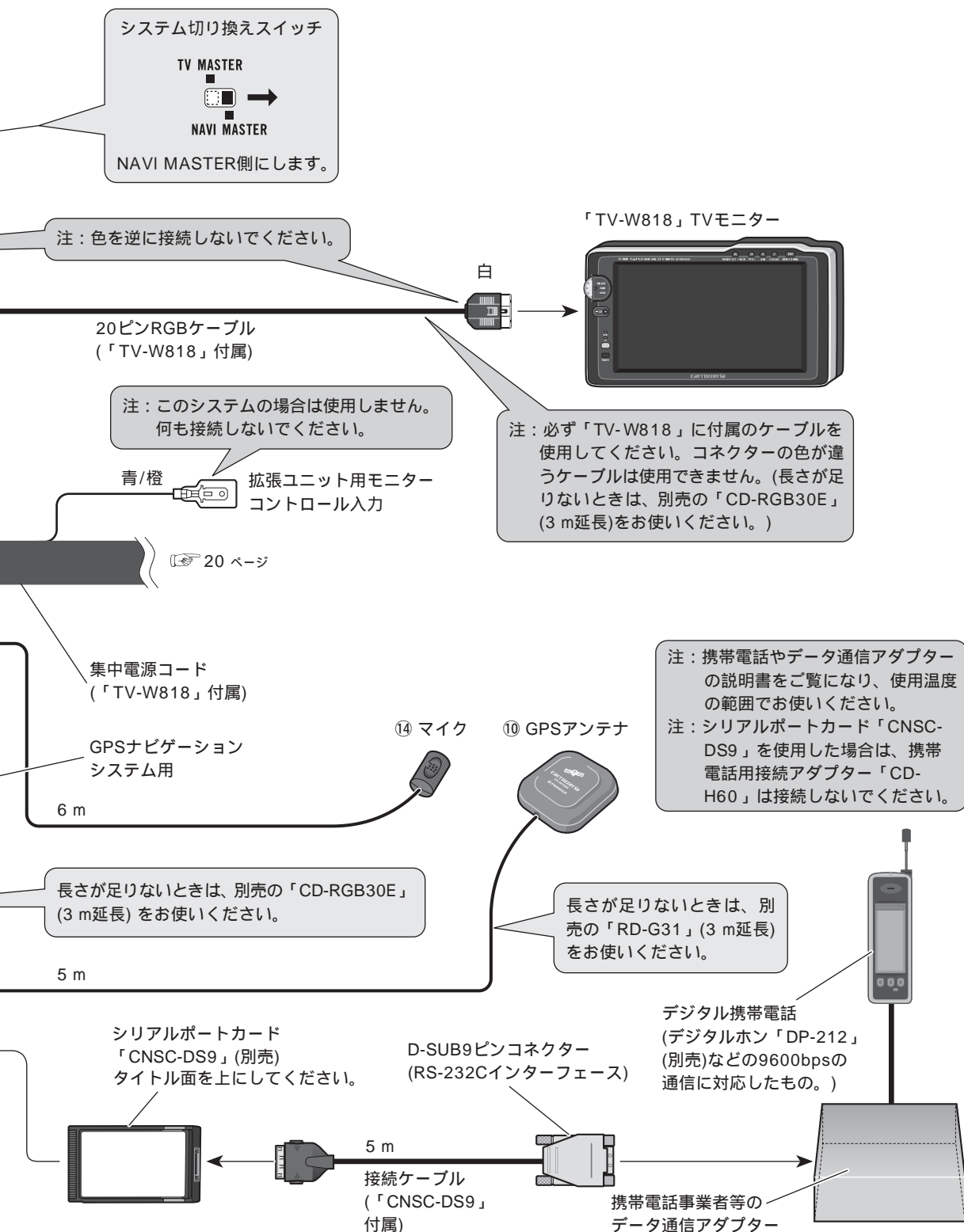
システムの接続 (2)

「TV-W818」と

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --



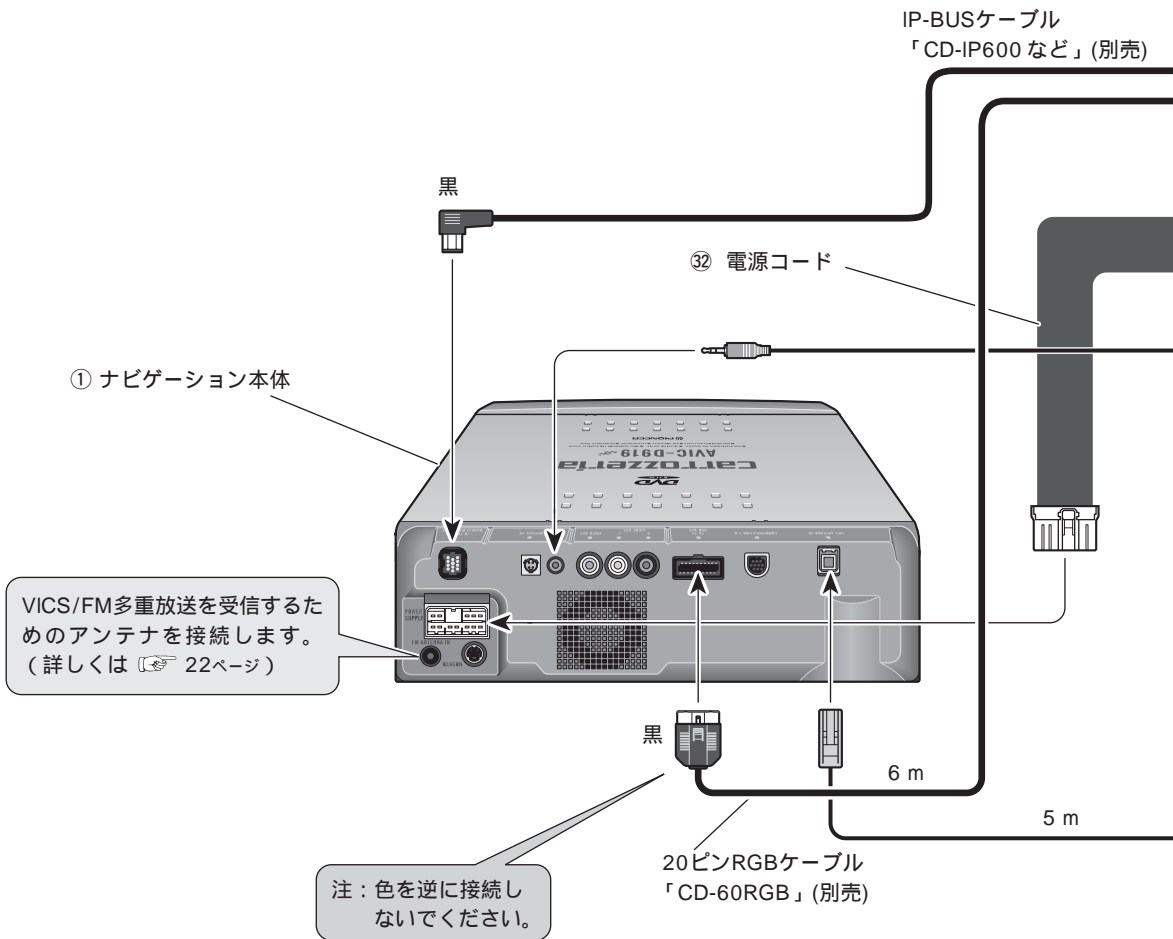
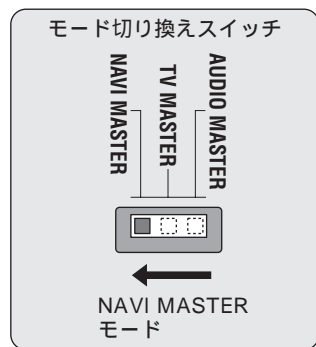
「CDX-R101」、「ND-B2」、「CNSC-DS9」を組み合わせた場合



システムの接続 (3)

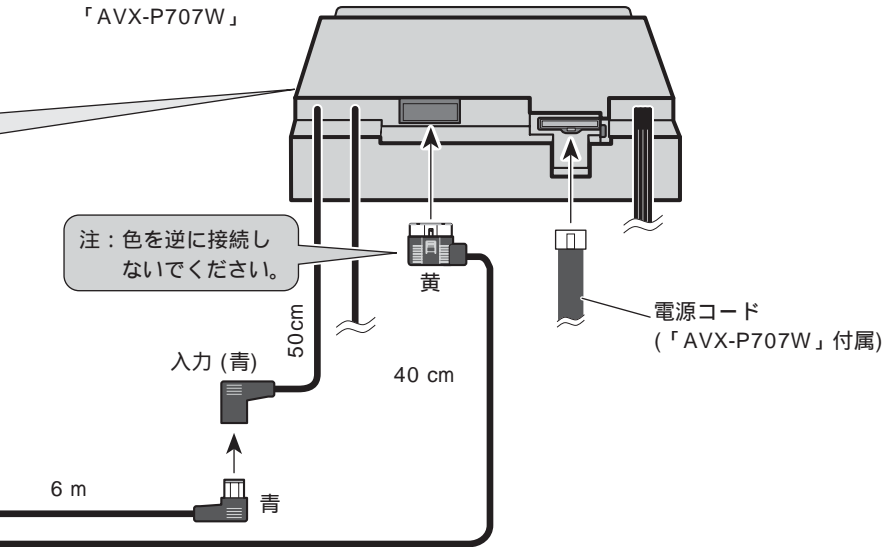
「AVX-P707W」と

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --



組み合わせた場合

7型ワイドAVシステムTV
「AVX-P707W」



20 ページ

青/赤 モニター
コントロール出力

注：このシステムの場合は使用しません。
何も接続しないでください。

⑭ マイク ⑩ GPSアンテナ

6 m

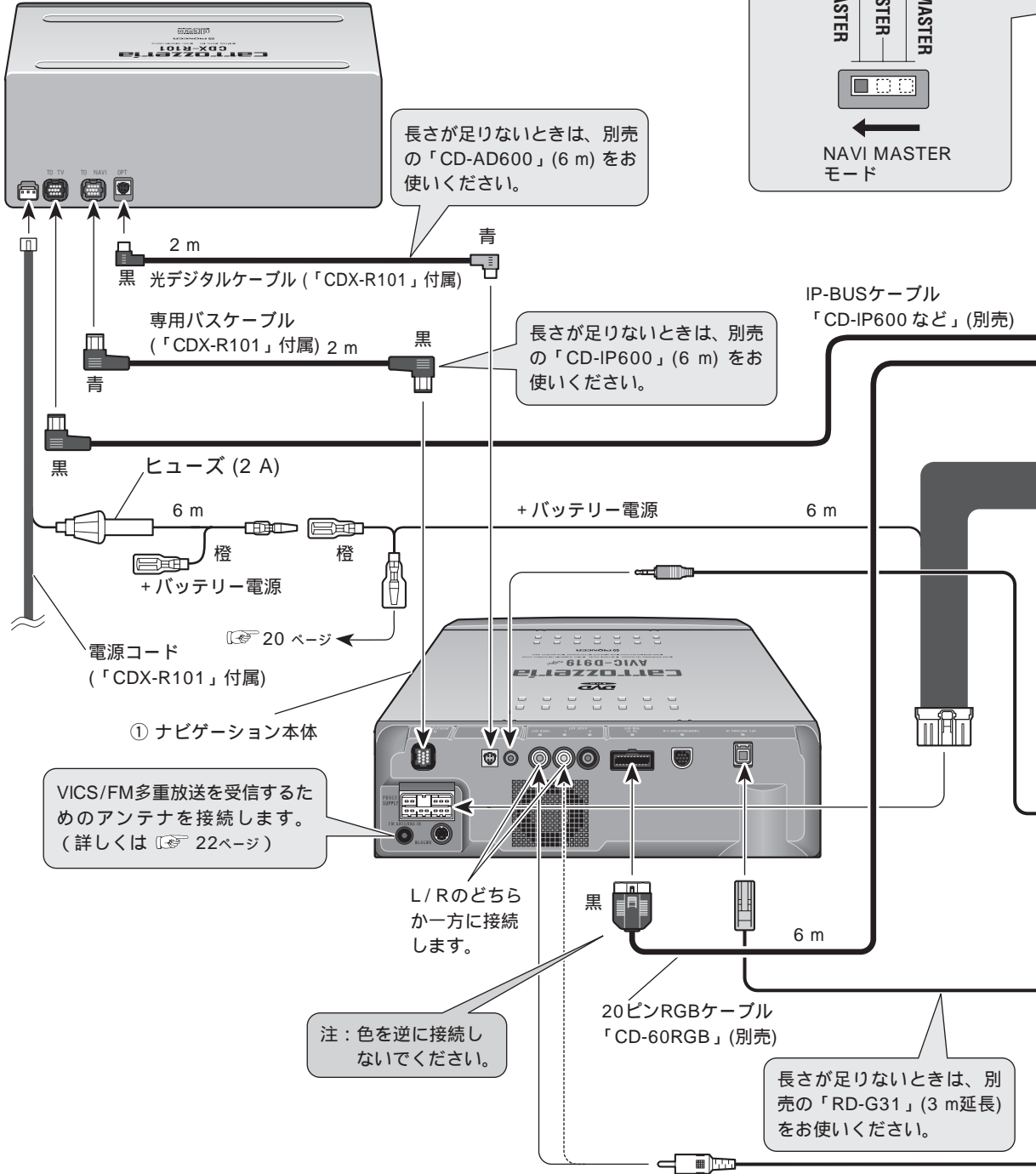
長さが足りないときは、別売の「RD-G31」
（3 m延長）をお使いください。

システムの接続 (4)

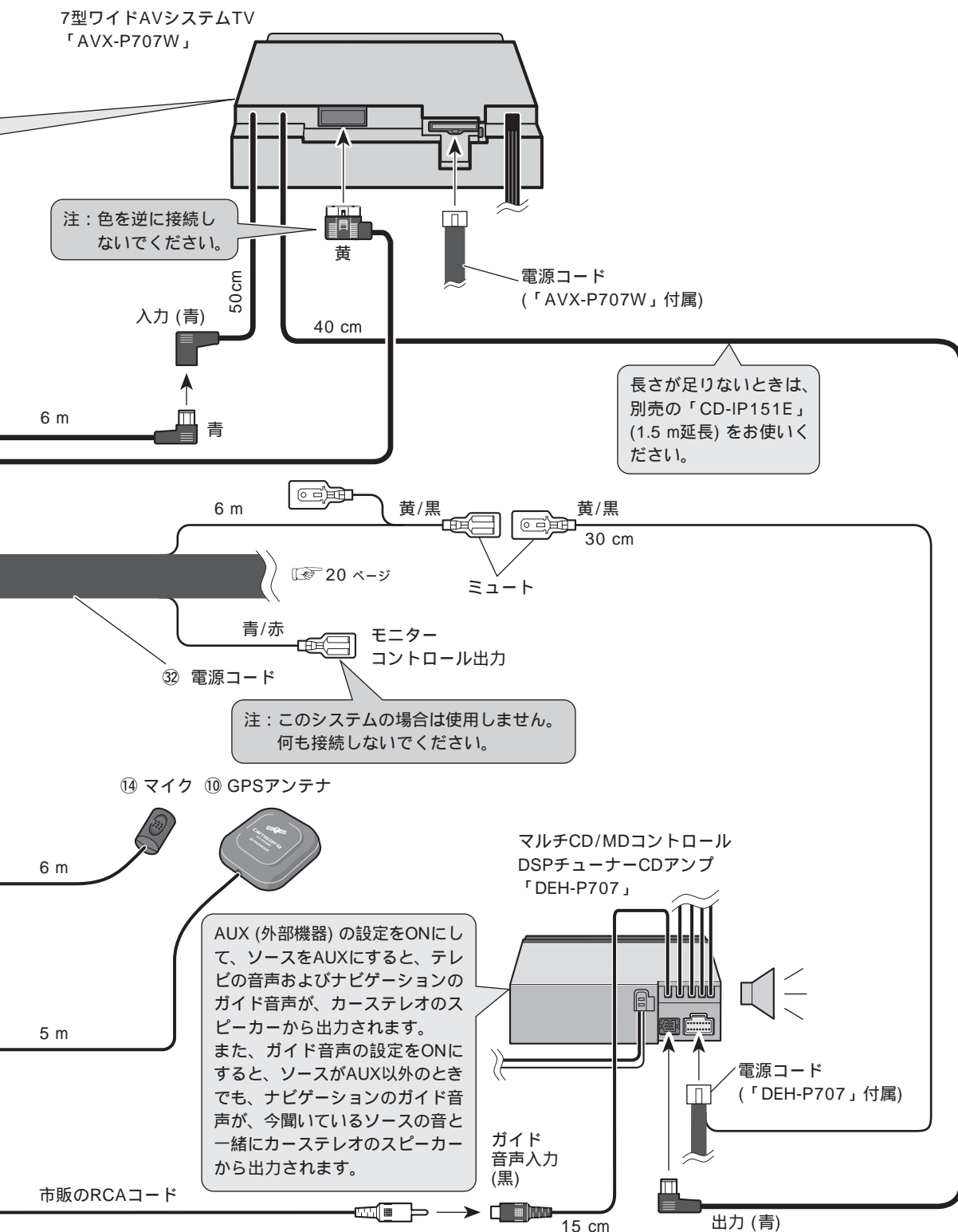
「AVX-P707W」と

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --

12連奏オーバーレディスクプレーヤー
例：「CDX-R101」



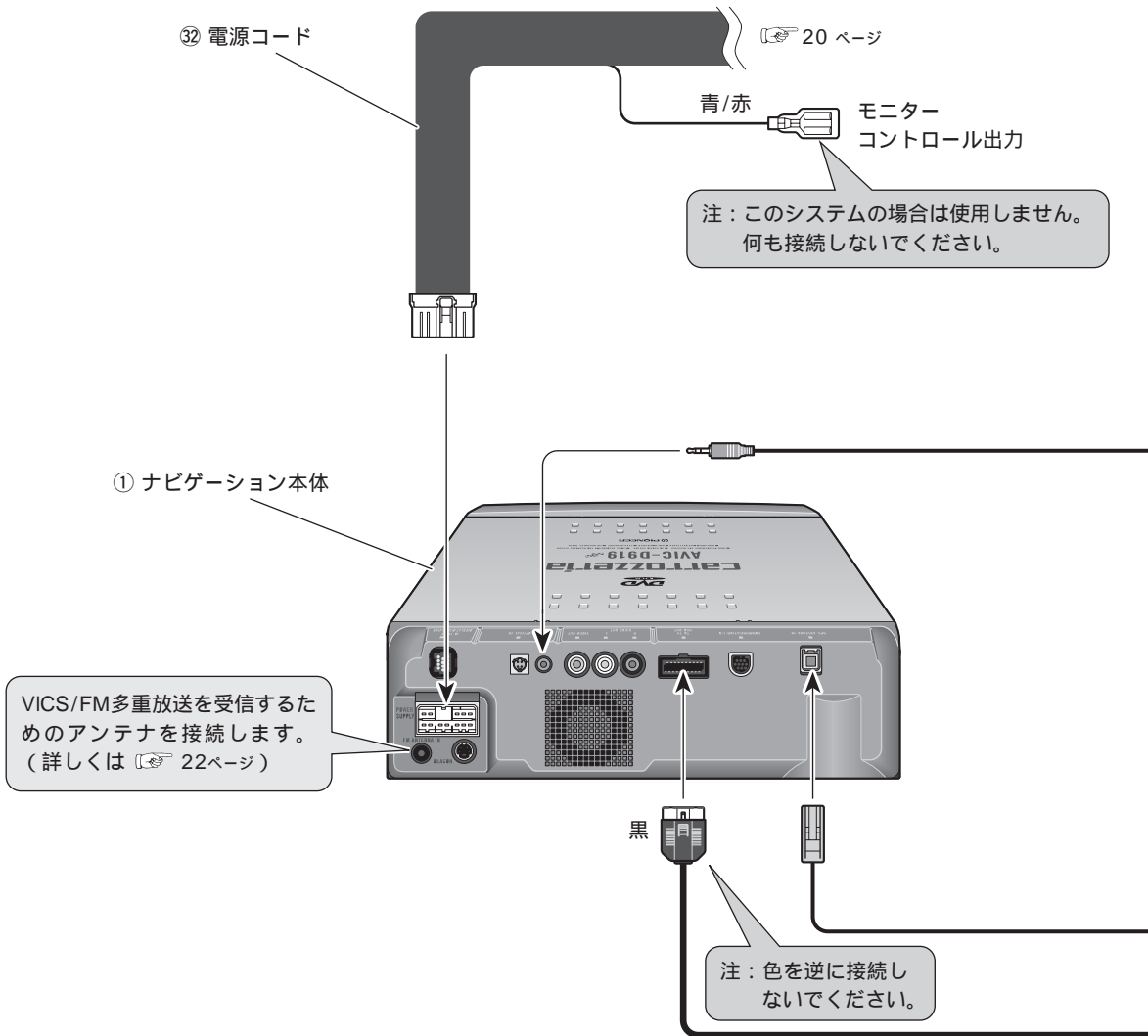
「DEH-P707」, 「CDX-R101」を組み合わせた場合



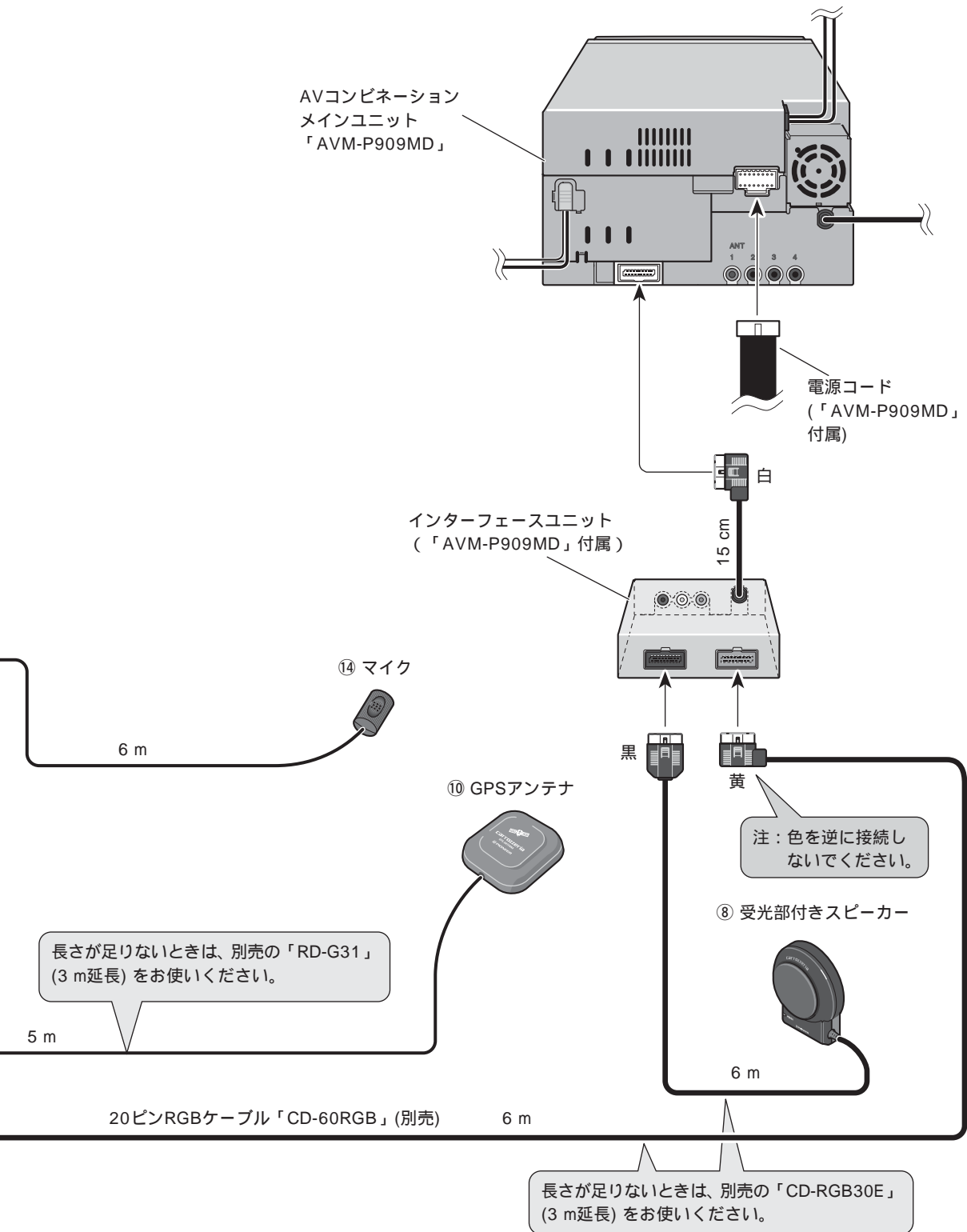
システムの接続 (5)

「AVM-P909MD」

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --



と組み合わせた場合

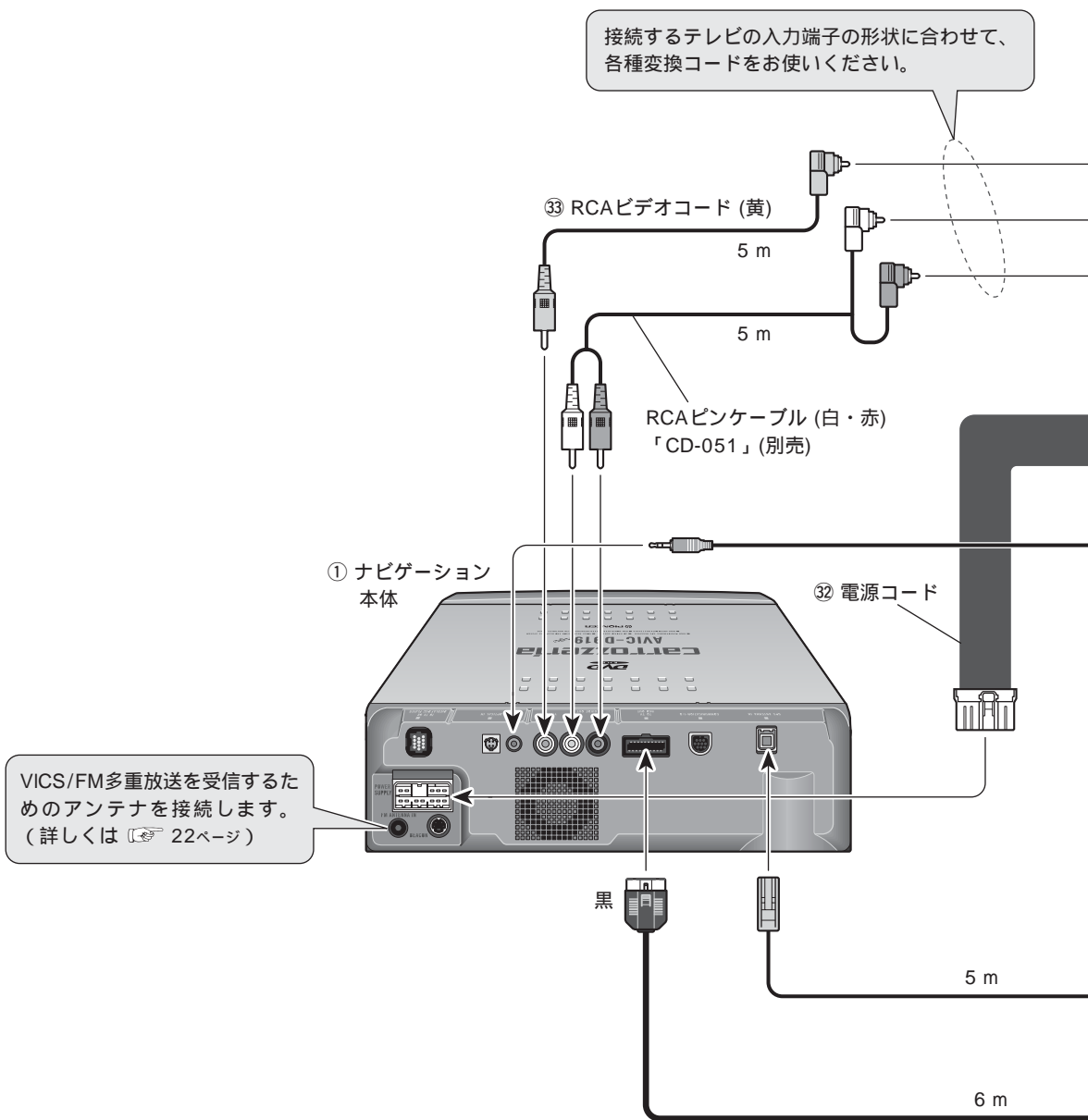


接続のしかた

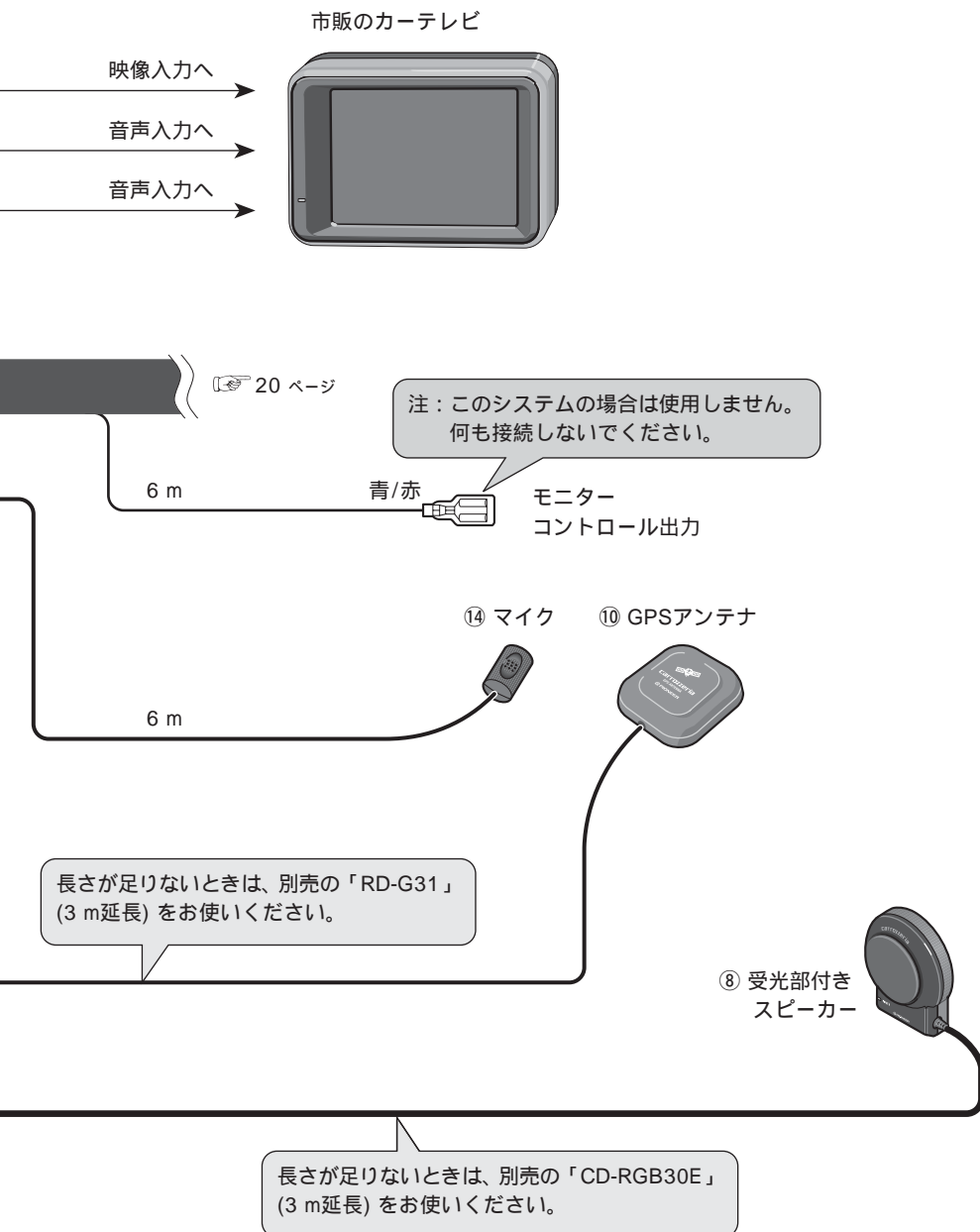
システムの接続 (6)

他社のモニター

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --



と組み合わせた場合



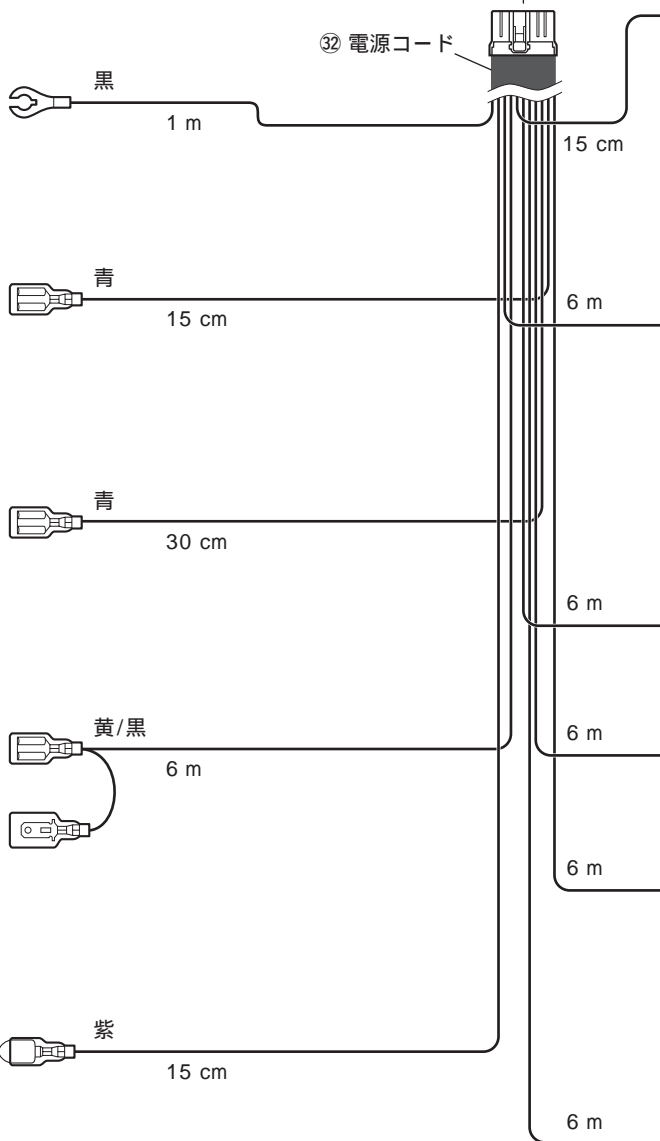
電源コードの接続

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --

① ナビゲーション本体



② 電源コード



アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。ノイズ防止のため、できるだけナビゲーション本体の近くに接続してください。

ビーコンコントロール

VICS用ビーコン受信機「ND-B2」(別売)と組み合わせるときに、「ND-B2」の青リード線(ビーコンコントロール入力)に接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

ご注意:「ND-B1」を組み合わせる場合は、車両のアクセサリ電源から電源をお取りください。このビーコンコントロールでは動作しません。

オートアンテナリモートコントロール

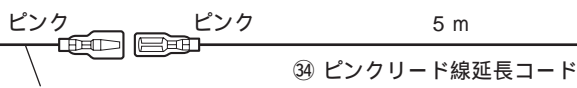
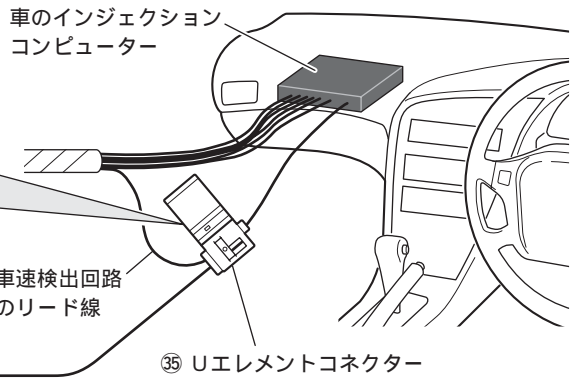
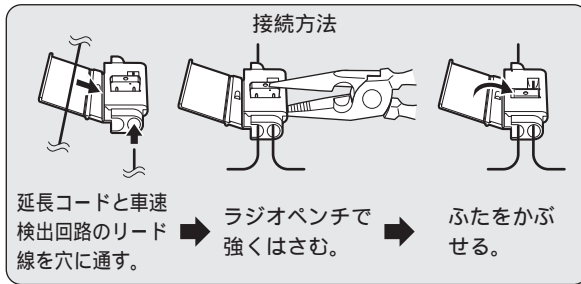
FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して車載のアンテナを接続するとき、「RD-FD20」の青リード線(オートアンテナリモートコントロール)に接続してください。

ミュート

バイオニア製のカーステレオと組み合わせるときに、カーステレオに黄/黒リード線(ミュート)がある場合、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。ガイド音声が出力されるときや、音声で操作するとき、カーステレオにオーディオミュートがかかり音量が小さくなります。(オーディオミュートをかける条件は変更することができます。詳しくは 46ページ)

ND-PG1接続時のみ使用 バック信号入力

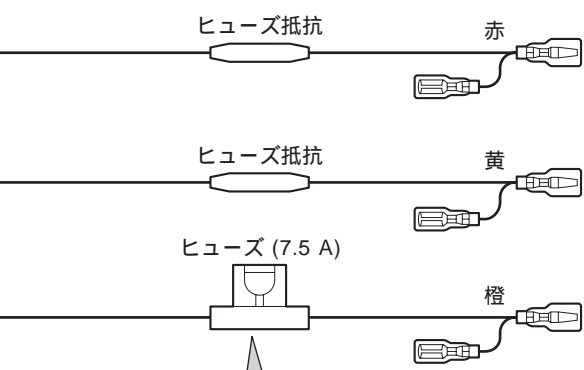
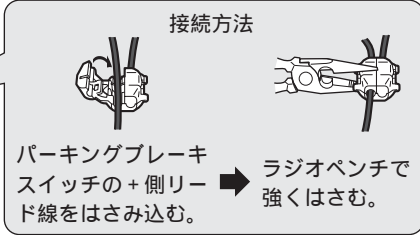
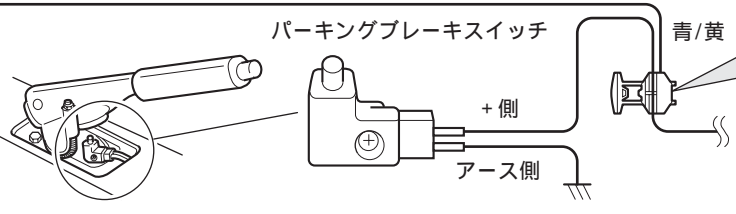
車速パルス発生機「ND-PG1」(別売)を接続した場合は、内蔵のセンサーが前進/後退を判断することができなくなります。この場合は「ND-PG1」に付属の紫リード線延長コードを使用してバックランプの+側リード線に必ず接続してください。それ以外は何も接続しないでください。通常は、内蔵のセンサーにより車の前進/後退を判断することができますので、何も接続する必要はありません。(何も接続しないときはキャップをはずさないでください。)詳しい接続方法は、「ND-PG1」の追加説明書をご覧ください。



車速信号入力
 車の走った距離を検出するために使用します。必ず車の車速検出回路に接続してください。(車の車速検出回路への接続が困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」(別売)を接続することもできます。)

インジェクションコンピューターの車速検出回路や、パーキングブレーキスイッチの位置は、車種によって異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

パーキングブレーキスイッチ
 車が停車していることを確認するために使用します。必ずパーキングブレーキスイッチの+側リード線に接続してください。



アクセサリ電源
 車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

イルミ電源
 車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路(時計の照明回路やスモールランプ回路など)に接続してください。

+バッテリー電源
 車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

注: ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

注: 赤、黄、橙リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。



モニターコントロール出力
 パイオニア製のTVモニターのON/OFFをコントロールするために使用します。(本機がONになるとコントロール信号が出力されます。)組み合わせる製品によって、接続のしかたが変わります。詳しくは組み合わせる製品の説明書をご覧ください。

VICS/FM 多重アンテナの接続

接続のポイントと接続上のご注意

電波の弱い地域では、FM 多重用には、専用のアンテナ「AN-8」(別売)または「AN-F10」(別売)を接続するか、FM 多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して車載のアンテナを接続してください。

首都圏中心部ではFM 多重放送の送信出力が高く、4素子のダイバーシティTVアンテナを組み合わせた場合に、TVアンテナの1素子をFM 多重用として使用できる場合があります。その他の地域では送信出力が低いいため、TVアンテナでは十分な感度を得られません。

電波の弱い地域で、4素子のダイバーシティTVアンテナの1素子をFM 多重用として使用すると、FM 多重放送やテレビを感度良く受信できない場合があります。

車載のアンテナがガラスアンテナの場合は、車載のアンテナでは十分な受信感度が得られないことがあります。できるだけ専用のアンテナを接続することをおすすめします。

別売のTVアンテナ「AN-G1」、「AN-G2」、「AN-G3」は、FM 多重用には使用できません。接続しないでください。

ノイズ防止のため、FM 多重アンテナのアンテナコードおよびTVアンテナのアンテナコードは、ナビゲーション本体および他のコード類(電源コードやモニター接続ケーブルなど)からできるだけ離して配線してください。束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

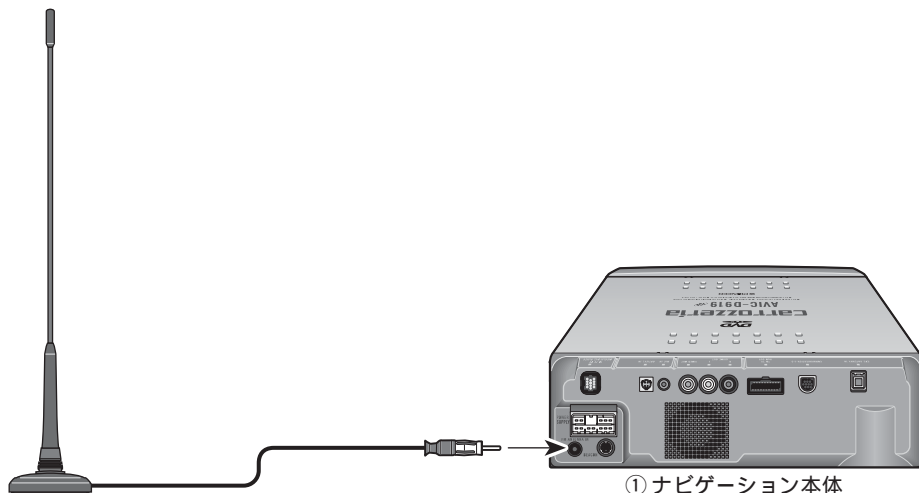
アンテナコードにノイズが飛び込むと、FM 多重放送やテレビの受信感度が悪くなります。

専用のアンテナを接続する方法

専用のアンテナ「AN-8」(別売)または「AN-F10」(別売)を接続します。

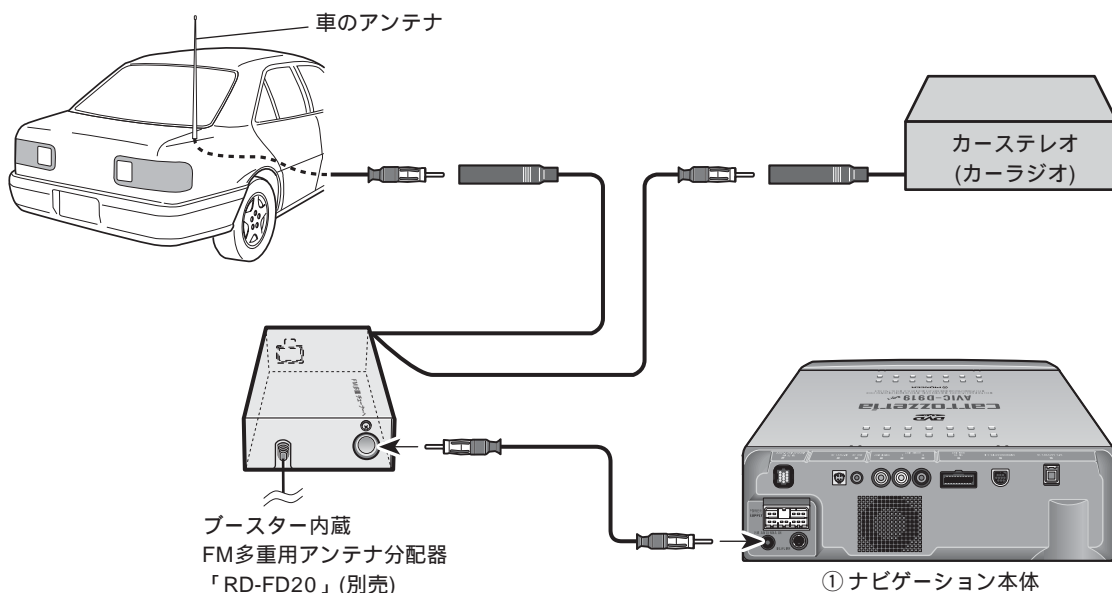
注：別売のTVアンテナ「AN-G1」、「AN-G2」、「AN-G3」は使用できません。接続しないでください。

FM 多重用アンテナ
「AN-F10」(別売)



車載のアンテナを接続する方法

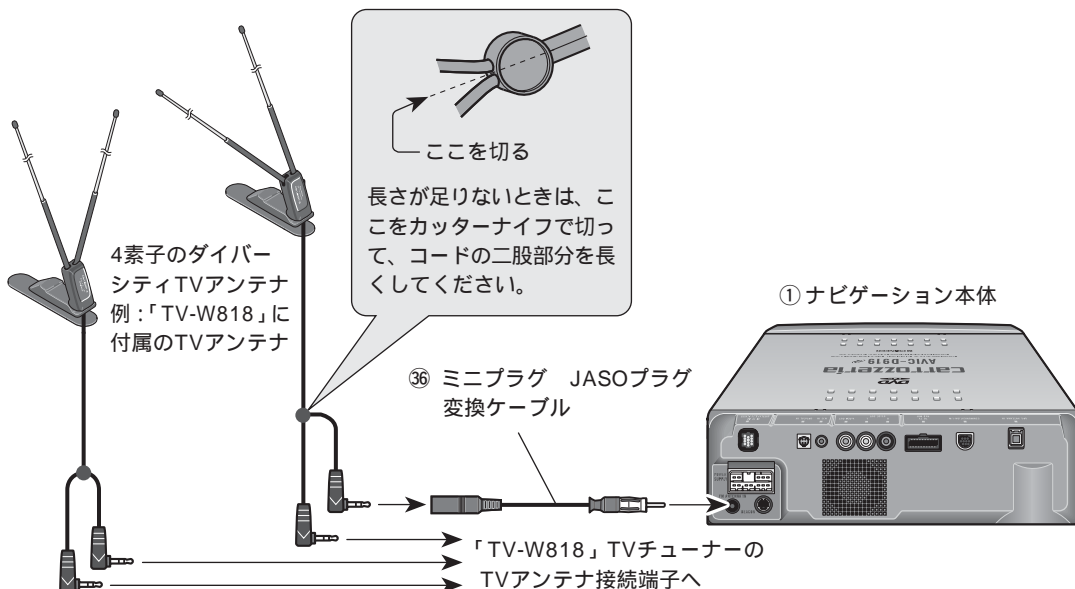
ブースター内蔵FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して車載のアンテナを接続します。



接続のしかた

TV アンテナを接続する方法

電波の強い地域で、4素子のダイバーシティTVアンテナを組み合わせた場合は、TVアンテナの1素子を接続することもできます。



取り付けの前に知ってほしいこと

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

粘着テープを貼り付ける前に

マジックテープや両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。

ノイズ防止のために

ナビゲーション本体およびGPSアンテナは、TVアンテナ、FM/AMアンテナおよびそのアンテナコードからできるだけ離して取り付けてください。

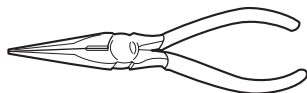
GPSアンテナやGPSアンテナのアンテナコードからナビゲーション本体にノイズが飛び込むと、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

取り付け工具

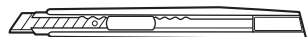
取り付けかたによって、使用する工具が違います。取り付け作業を行う前に、取り付けに必要な工具を確認してください。



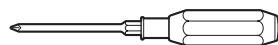
スパナ



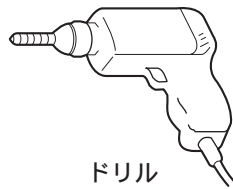
ラジオペンチ



カッターナイフ



プラスドライバー



ドリル

ナビゲーション本体の取り付け

取り付け上のご注意

次のような場所には絶対に取り付けないでください。高温により故障する恐れがあります。

- * ダッシュボードやリアートレイの上のように、直射日光の当たる場所。
- * ヒーターの吹き出し口の近く。

ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取り付けないでください。

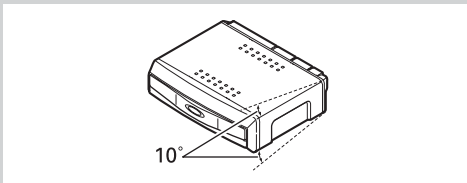
しっかりと固定できる場所を選んで取り付けてください。しっかりと固定されていないと、現在地を正しく表示できなくなります。

スペアタイヤボードなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けないでください。

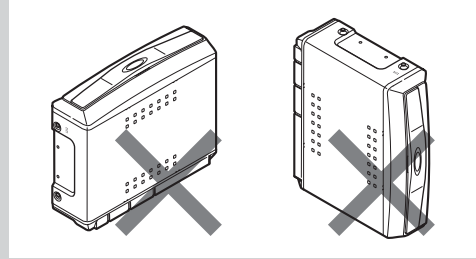
荷物などが当たる場所には取り付けないでください。強い衝撃が加わると、現在地を正しく表示できなくなります。

スペアタイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。また、DVD-ROMディスクおよびPCカードが出し入れできることを確認してください。

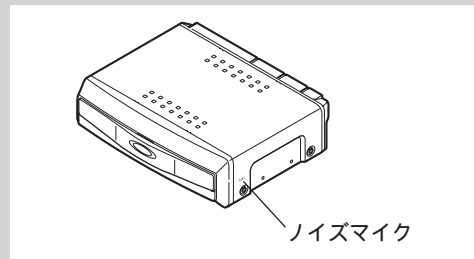
上下の傾きは、水平に対して、10度以内の角度で取り付けてください。角度が大きくなると、現在地を正しく表示できなくなります。



縦置きしないでください。故障の原因となります。



ナビゲーション本体には音声認識用のノイズマイク（車内の雑音を検知するマイク）が内蔵されています。ノイズマイクの内蔵部分にカーペットなどをかぶせないでください。ノイズマイクの働きが悪くなります。



ナビゲーション本体を設置する床面の下部に、マフラー等の高温になるものがあり、床面が熱くなるような場合、保護回路が働き動作停止することがあります。このような場所には取り付けないでください。

取り付けかた

ナビゲーション本体の取り付けについて

2つの取り付け方法があります

トランク内の床に取り付ける方法
粘着テープで固定するため、車を加工することなく取り付けることができますが、取り付け強度はトランク内の取付ボードに取り付ける方法に比べると弱くなります。

トランク内の取付ボードに取り付ける方法
トランク内に設置した取付ボードに穴を開けて、ネジで取り付けます。しっかりと固定することができます。

TVチューナーと重ねて取り付けられます

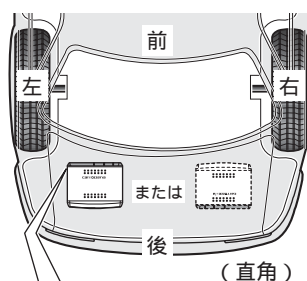
本機に付属の取付アングルで、P side P 8.0型液晶TVバック「TV-W818」（別売）のTVチューナーと重ねて取り付けすることもできます。

ナビゲーション本体の取り付け (つづき)

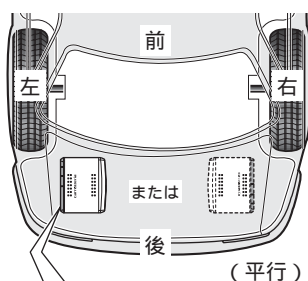
取り付ける向きについてのご注意

ナビゲーション本体の左右が、車の進行方向に対して直角または平行になるように取り付けてください。斜めには取り付けないでください。車の進行方向に対して斜めに取り付けると、現在地を正しく表示できなくなります。

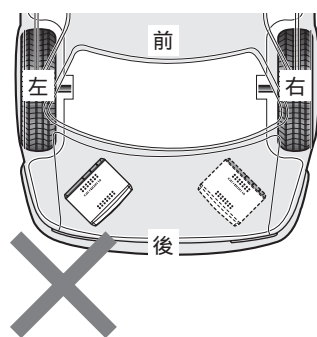
ナビゲーション本体の左右を、車の進行方向に対して平行に取り付けるときは、内蔵のGセンサーを正しく動作させるため、必ず本体底面の取り付け方向レバーを「↔」側に切り換えてください。



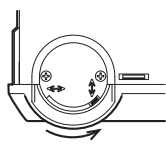
(直角)



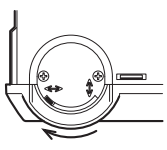
(平行)



底面の取り付け方向レバー



底面の取り付け方向レバー

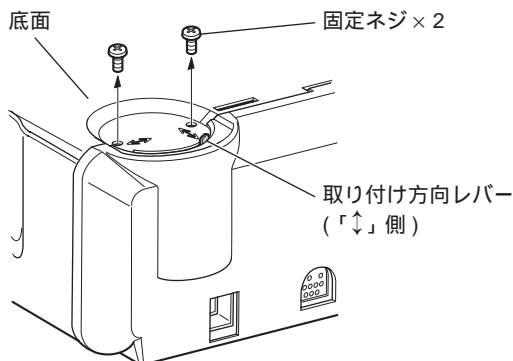


取り付け方向レバーは、矢印が進行方向を指す方に切り換えます。

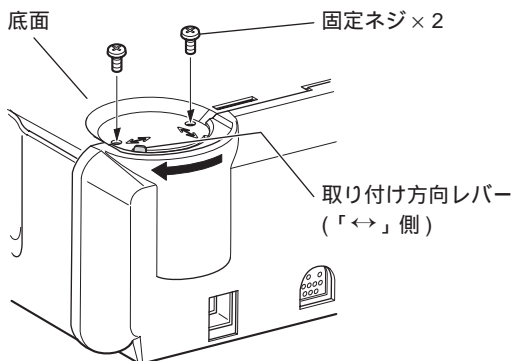
ナビゲーション本体の左右を、車の進行方向に対して平行に取り付けるときは

ナビゲーション本体の左右を、車の進行方向に対して平行に取り付けるときは、本体底面の取り付け方向レバーを「↕」側から「↔」側に切り換えてください。「↕」側のまま取り付けると、内蔵のGセンサーが正しく動作しません。

1 取り付け方向レバーの固定ネジを取り外す



2 レバーを「↔」側にし、固定ネジを締める



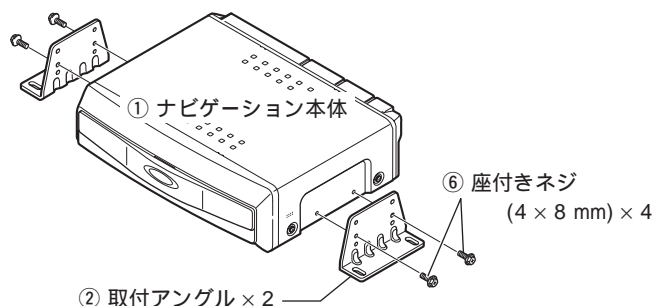
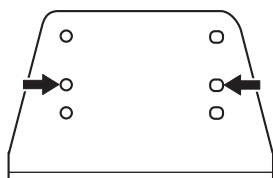
取付アングルを取り付ける

取付アングルをナビゲーション本体に取り付ける

ナビゲーション本体を車に取り付けるために、取付アングルをナビゲーション本体に取り付けます。

ナビゲーション本体だけで取り付ける場合

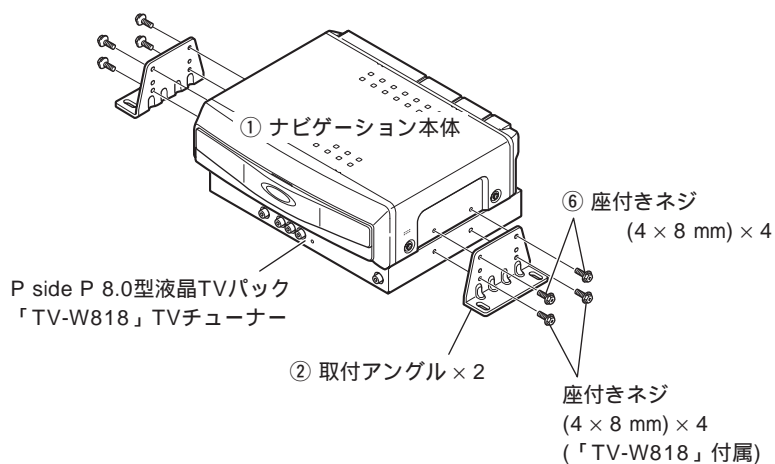
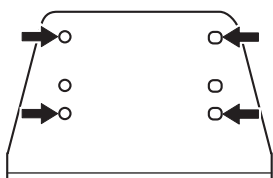
取付アングルの次の穴を使用します。



TV チューナーと重ねて取り付ける場合

P side P 8.0型液晶TVパック「TV-W818」(別売)のTVチューナーと重ねて取り付けることができます。

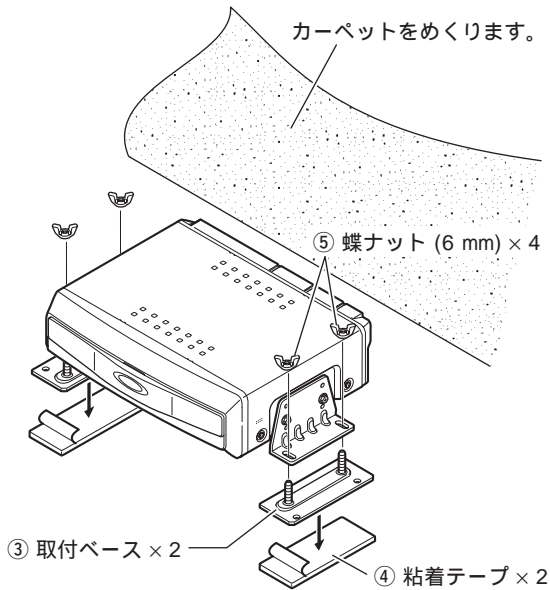
取付アングルの次の穴を使用します。



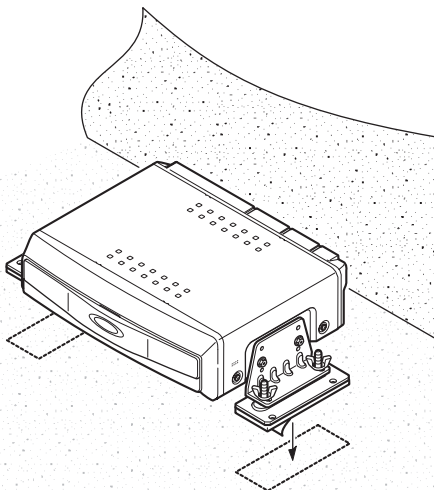
ナビゲーション本体の取り付け (つづき)

トランク内の床に取り付ける場合

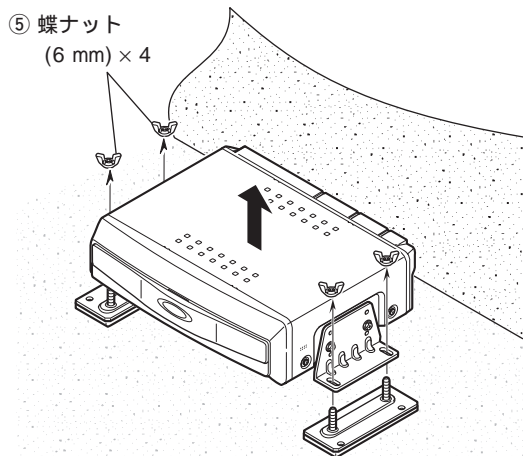
1 取付アングルに取付ベースを取り付ける



2 取り付ける位置を決め、粘着テープを貼る

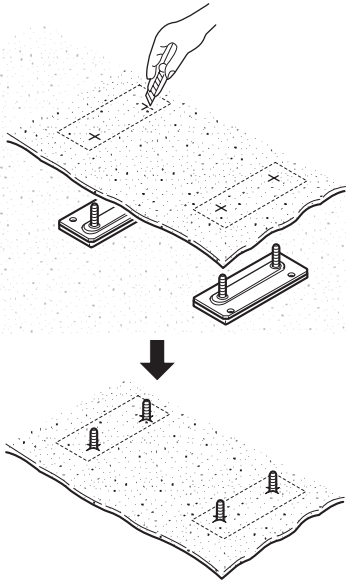


3 蝶ナットを外し、本体を一度取り外す



4

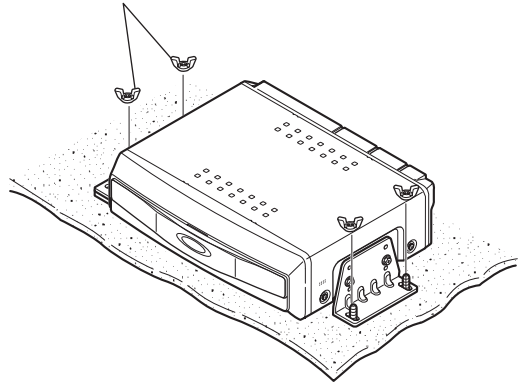
カーペットを元に戻し、ネジ部をカーペットの上に出す



5

本体を取り付け、しっかり固定する

⑤ 蝶ナット
(6 mm) × 4

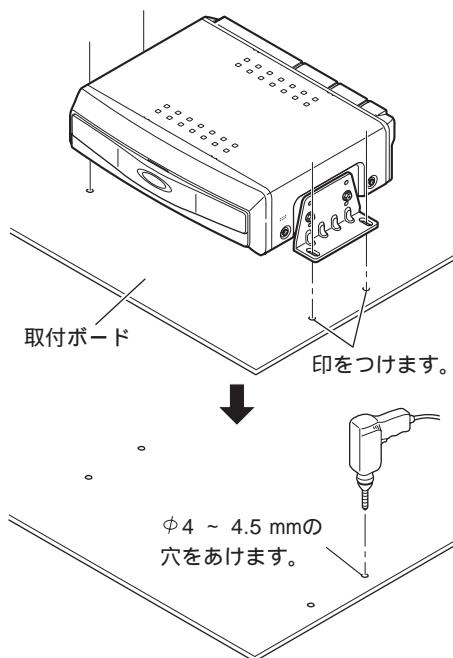


取り付けかた

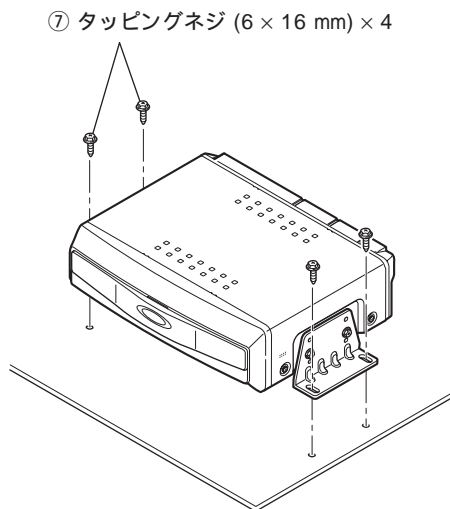
ナビゲーション本体の取り付け (つづき)

トランク内の取付ボードに取り付ける場合

1 取り付ける位置を決め、穴を開ける



2 タッピングネジで、しっかり固定する

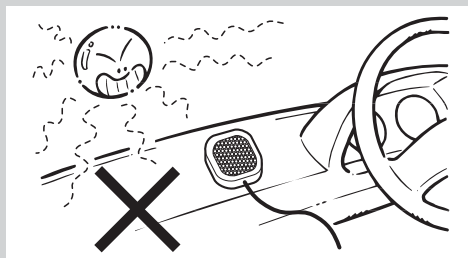


受光部付きスピーカーの取り付け

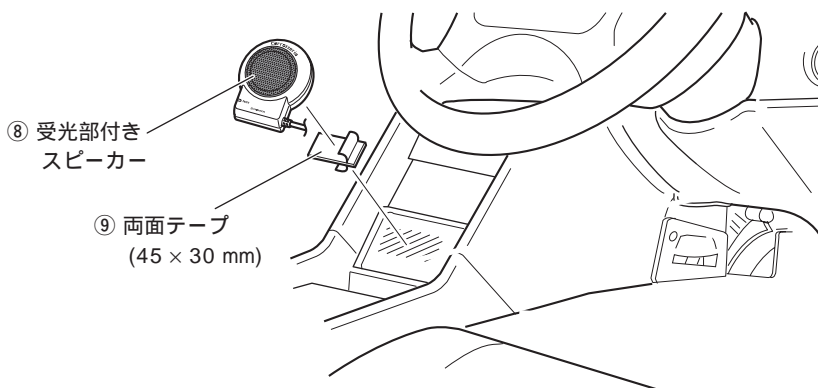
取り付け上のご注意

直射日光の当るダッシュボードの上には、絶対に取り付けないでください。高温により故障する恐れがあります。

受光部付きスピーカーには、リモコン受光部の働きもあります。リモコンや音声認識コントローラーの信号がとどく範囲内に取り付けてください。



付属の両面テープを受光部付きスピーカーの裏面に貼り付け、センターコンソールに取り付けます。

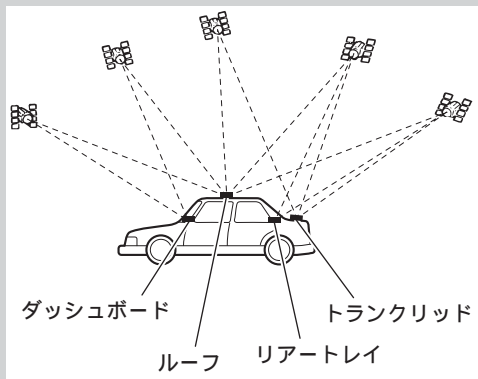


取り付けかた

GPS アンテナの取り付け

取り付け上のご注意

GPSアンテナは、GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所に水平に取り付けてください。(どの方向からも電波が受信できるように、できるだけ車外のルーフやトランクリッドに取り付けてください。)



GPSアンテナを車内に取り付ける場合は、必ず付属の金属シートを使用してください。使用しないと、十分な受信感度が得られなくなります。

付属の金属シートは、切って小さくしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。

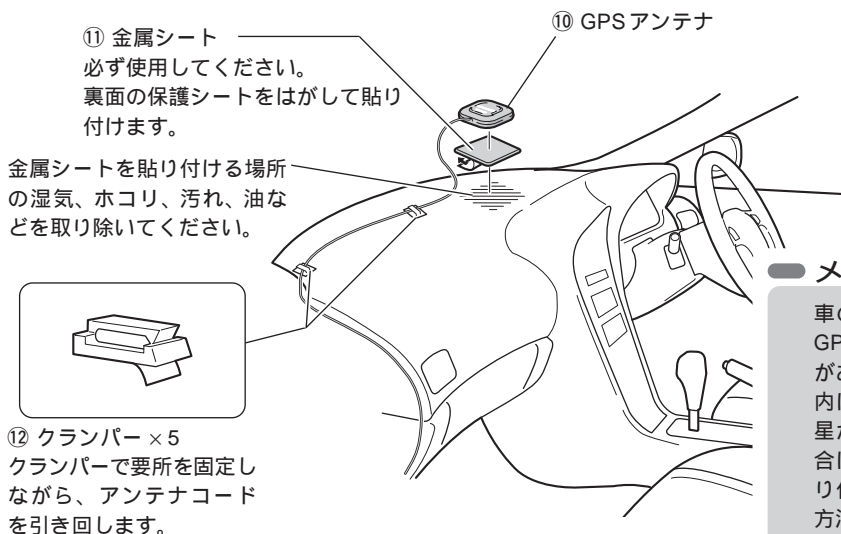
GPSアンテナを取り外すときは、アンテナコードを引っ張らないでください。アンテナに付いている磁石が強力なため、コードが抜けてしまうことがあります。

GPSアンテナは磁石で取り付けます。アンテナを車のボディに取り付ける場合は、ボディを傷つけないように慎重に取り付けてください。

GPSアンテナを車外に取り付けた場合、自動洗車機で洗車するときは、アンテナを取り外して車内にしまってください。アンテナが外れて車のボディを傷つけることがあります。GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。

車内 (ダッシュボードやリアートレイの上) に取り付ける場合

なるべく水平な場所、またはアンテナがウィンドの外に向く場所に金属シートを貼り付け、GPSアンテナを金属シートの上に置きます。(GPSアンテナの磁石で固定されます。)



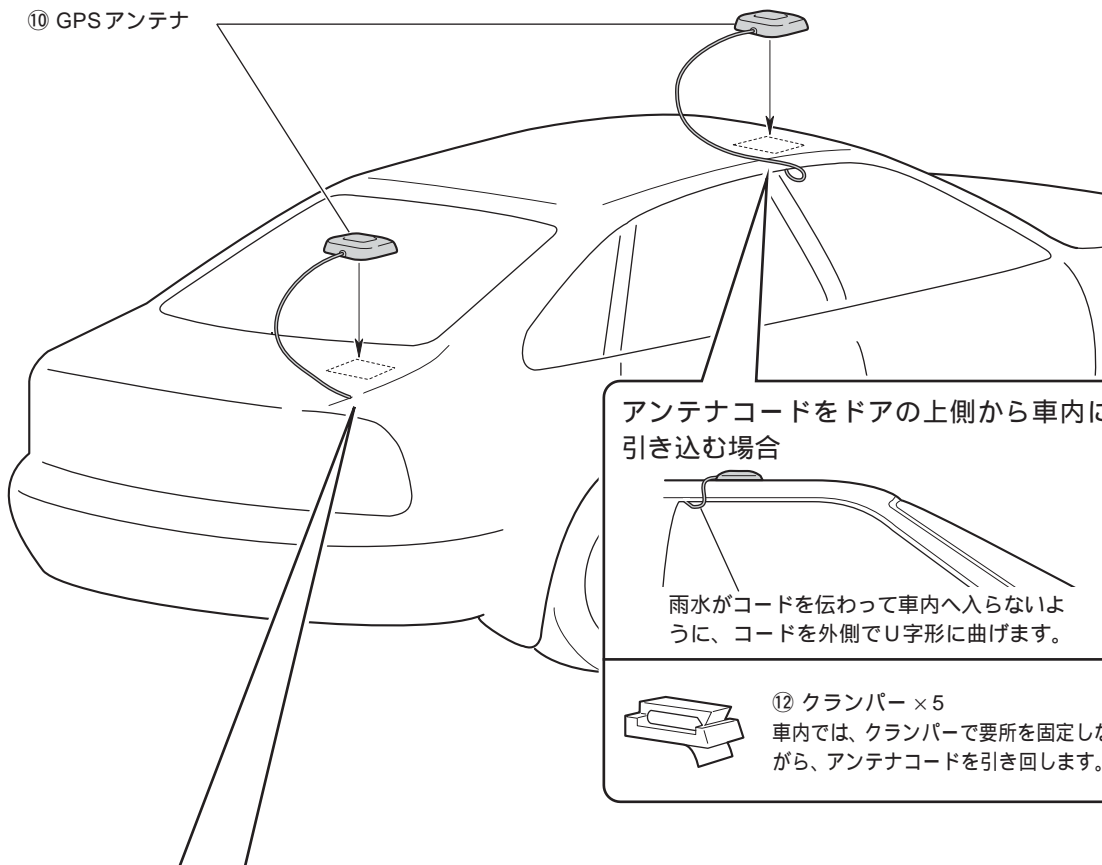
メモ

車のウィンドガラスの一部に、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けたときに、GPS衛星からの電波を受信しにくい場合は、一度アンテナを車外に取り付けてみてください。(確認方法は 43 ページ)

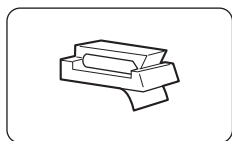
車外 (車のボディ) に取り付ける場合

車のルーフやトランクリッドの、なるべく水平な場所にGPSアンテナを置きます。(GPSアンテナの磁石で固定されます。)

⑩ GPSアンテナ

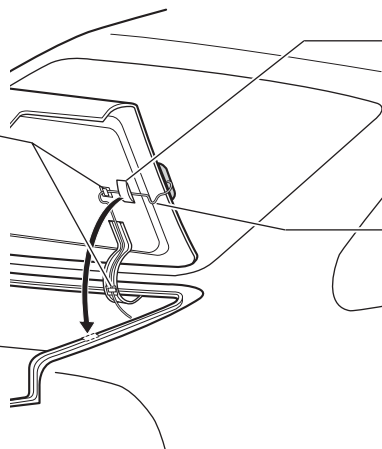


アンテナコードをトランク内に引き込む場合



⑫ クランパー × 5
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

ゴムパッキング



⑬ 防水パッド
トランクを閉めたとき、ゴムパッキングの上に防水パッドが水平に当るようにします。

雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードをゴムパッキングの外側でU字形に曲げます。

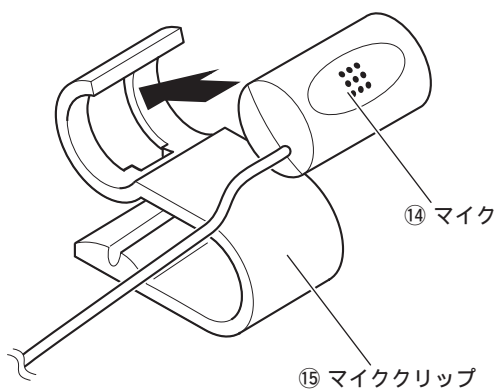
マイクの取り付け

取り付け上のご注意

マイクは、ドライバーの声をなるべく拾いやすい向きや位置に取り付けてください。

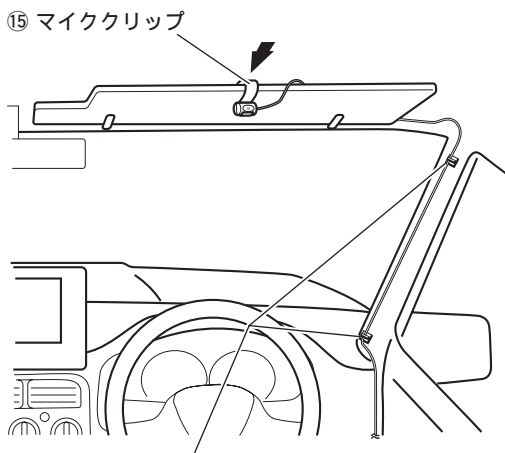
サンバイザーにはさんで取り付ける場合

1 マイククリップに マイクを取り付ける



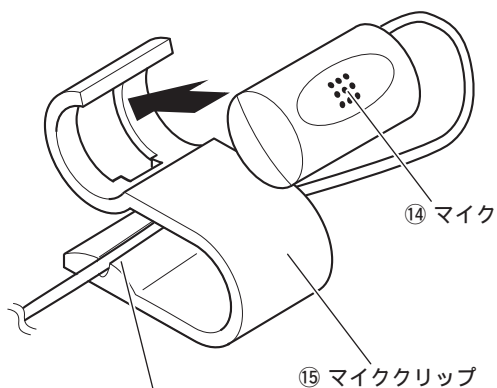
2 サンバイザーにマイク クリップを取り付ける

サンバイザーを上げた状態で取り付けます。サンバイザーを下げると、正しく音声認識できません。



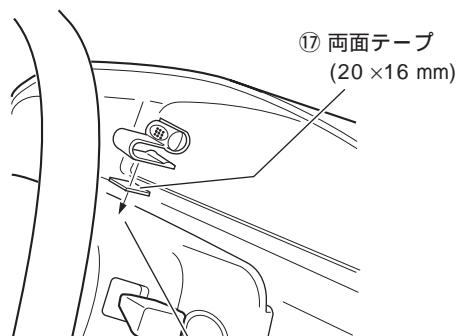
ステアリングポストに取り付ける場合

1 マイククリップに マイクを取り付ける

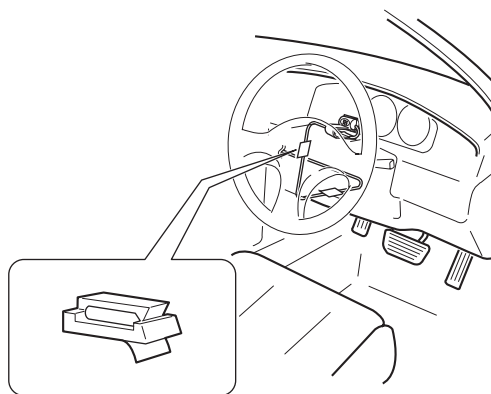


溝にマイクコードを
埋め込みます。

2 ステアリングポストにマイク クリップを取り付ける



ステアリングポストの奥の
方へ取り付けてください。



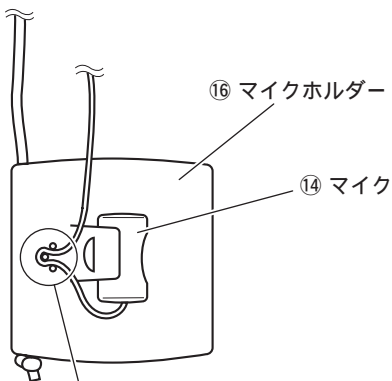
クランパーで要所を固定
しながら、マイクコード
を引き回します。

取り
付け
かた

マイクの取り付け (つづき)

シートベルトに取り付ける場合

1 マイクホルダーに マイクを取り付ける



マイクコードをこのように配線します。

警告

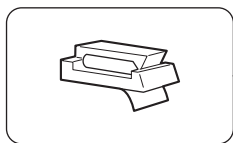
シートベルトに取り付けるときの注意



必ず行う

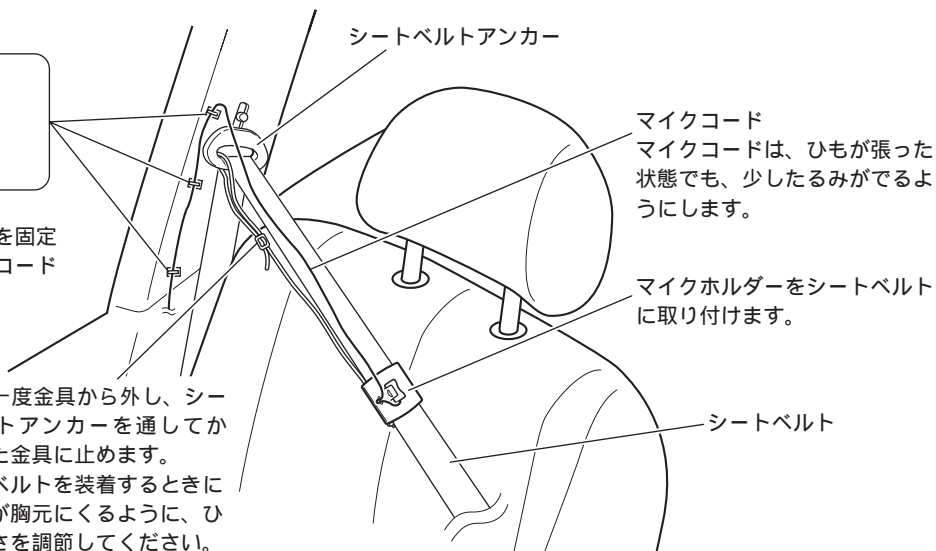
シートベルトにマイクを取り付けるときは、必ず指定の取り付け方法を守ってください。そうしないとシートベルトが正しく機能しなかったり、コードやひもが首などに巻き付いたりして危険です。また、指定の取り付け方法で取り付けたときでもシートベルトの戻りが悪くなったり異常がある場合は、シートベルトには取り付けないでください。

2 シートベルトにマイクホルダーを 取り付ける



⑱ クランパー × 5
クランパーで要所を固定しながら、マイクコードを引き回します。

ひもは一度金具から外し、シートベルトアンカーを通してから、また金具に止めます。シートベルトを装着するときにマイクが胸元にくるように、ひもの長さを調節してください。



マイクコード
マイクコードは、ひもが張った状態でも、少したるみができるようにします。

マイクホルダーをシートベルトに取り付けます。

シートベルト

音声認識コントローラーの取り付け

取り付け上のご注意

エアバックなどの車の安全装置が働いたときに、その動作の妨げになる場所には絶対に取り付けないでください。

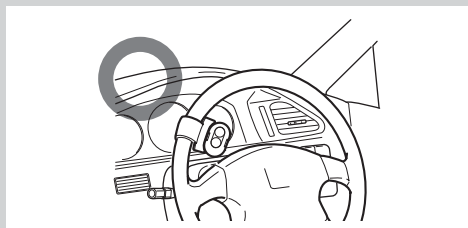
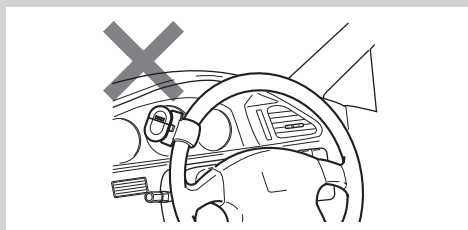
車のメーター類の、視認の妨げになる場所には取り付けないでください。

取り付ける位置や向きによっては、音声認識コントローラーの信号がリモコン受光部にとどかない場合があります。固定する前に、取り付ける位置で、動作確認を行ってください。(動作しない場合は、コントローラーの上下や裏表を逆にしてみてください。それでも動作しない場合は、取り付け位置を変えてください。)

ハンドルに取り付けるときは、ハンドルの左または右側のリモコン受光部に近い方(右ハンドル車の場合はハンドルの左側、左ハンドル車の場合は右側)に取り付けてください。逆側に取り付けると、音声認識コントローラーの信号がリモコン受光部にとどかないため、動作しないことがあります。

ハンドルに取り付けるときは、付属のベルトでしっかりと固定してください。しっかり固定しないと、運転操作の邪魔になり、交通事故の原因となります。

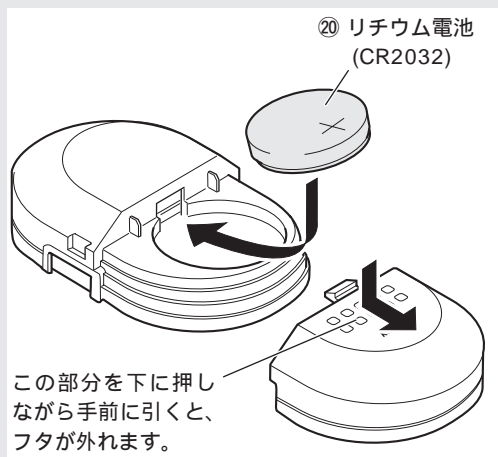
ハンドルに取り付けるときは、ハンドルの外側に取り付けしないでください。運転操作の邪魔になり、交通事故の原因となります。必ずハンドルの内側に取り付けてください。



取り付けかた

電池の入れかた

裏ボタンを外して、リチウム電池 (CR2032) を ⊕ 側を上にしてセットします。



取り扱い上のご注意

リモコン受光部に直射日光が当たっていると、音声認識コントローラーの操作ができないことがあります。

付属の電池は充電できません。

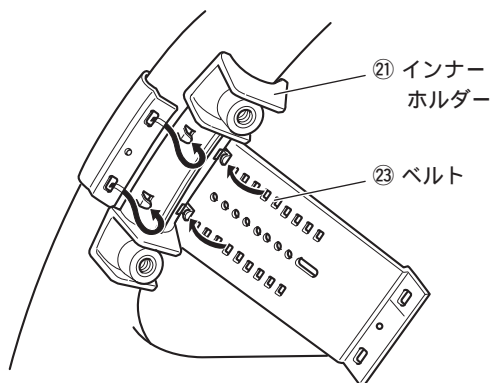
音声認識コントローラーを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は幼児の手の届かない所に保管してください。

電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

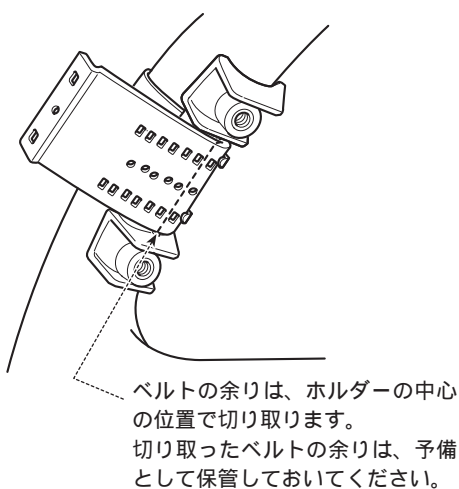
音声認識コントローラーの取り付け

ハンドルに取り付ける場合

1 ハンドルにインナーホルダーを取り付ける



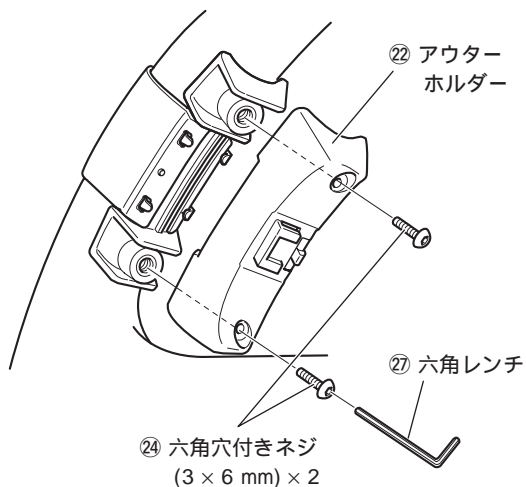
2 ベルトの余りを切り取る



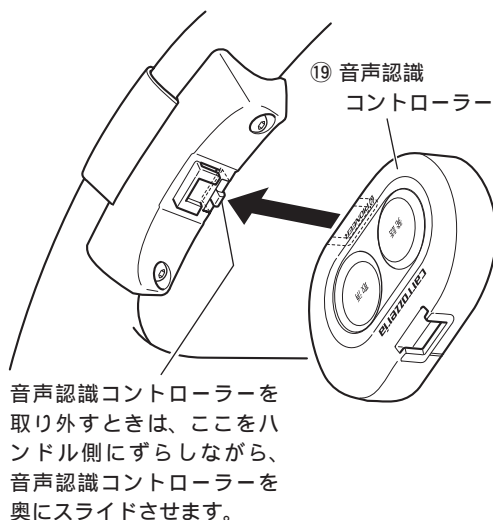
メモ

上図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車に取り付ける場合は左右逆に取り付けてください。
ハンドルの太さによっては、切り取ったベルトの余りが、使えない場合があります。

3 インナーホルダーにアウターホルダーを取り付ける

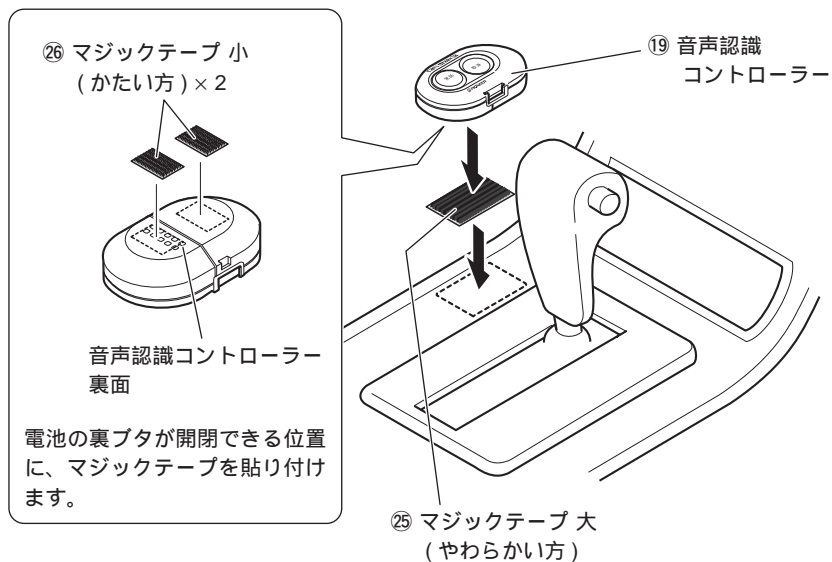


4 音声認識コントローラーを取り付ける



マジックテープで取り付ける場合

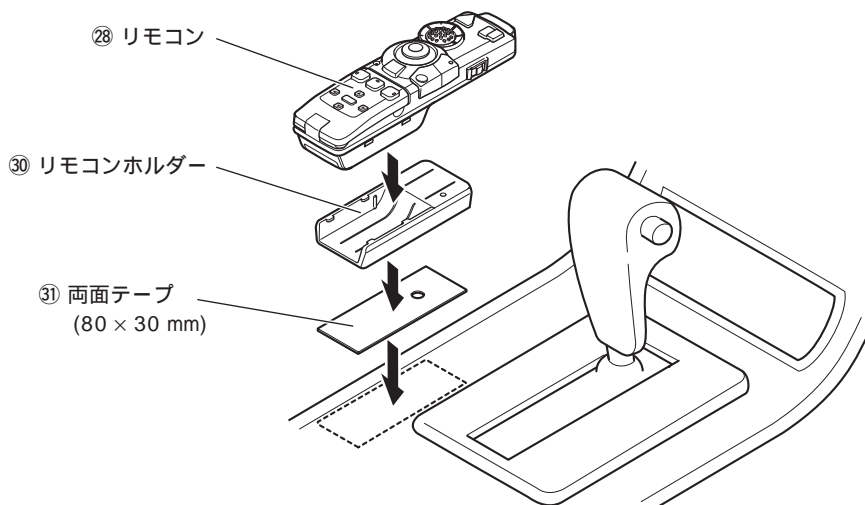
付属のマジックテープ小 (かたい方) を音声認識コントローラーの裏面に、マジックテープ大 (やわらかい方) を取り付け場所に貼り付けます。



リモコンの取り付け

両面テープで貼り付ける場合

付属の両面テープ (80 × 30 mm) を使用して、リモコンホルダーを貼り付けます。



電池の入れかた

裏ボタンを外して、単4形アルカリ乾電池 (LR03) 2本をセットします。



リモコンの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

取り扱い上のご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

リモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。このようなときは、リモコン受光部にリモコンを近づけて操作してください。

乾電池は充電できません。

リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。

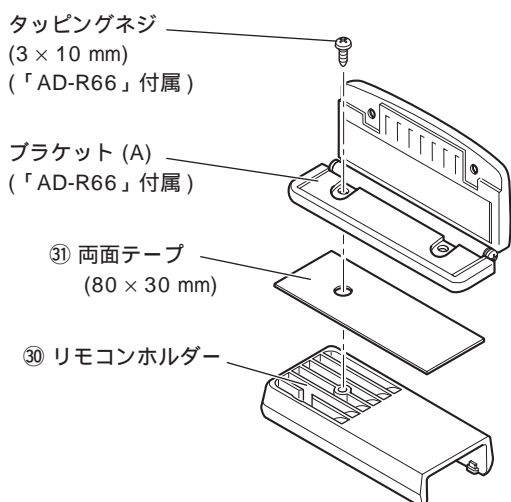
電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

電池を交換するときは、電池寿命の点から、アルカリ電池を使用することをおすすめします。

別売の「AD-R66」を使用して取り付ける場合

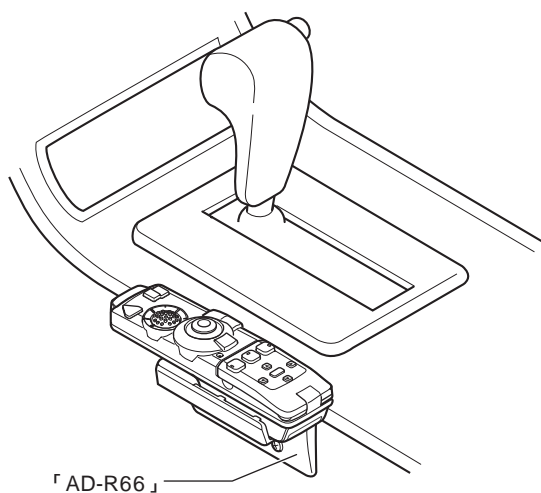
センターコンソールの幅が狭く、センターコンソール上にリモコンの取り付けスペースがない場合は、別売のメインコントローラーアタッチメント「AD-R66」を使用して取り付けます。

1 「AD-R66」に付属のブラケット (A) に リモコンホルダーを取り付ける



2 「AD-R66」を車に取り付ける

「AD-R66」の『取付説明書』を参照して、車に取り付けます。



接続の確認とナビゲーションの設定

接続・取り付けが終わったら、本機を動作させ、はじめに接続の確認、3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください。



ジョイスティックと決定ボタン

1 車のエンジンをかける



2 ボールペンの先などで、本機のリセットボタンを押す

リセットボタンは、ドアを開けるとEJECTボタンの隣りにあります。



リセットボタン

3 ナビゲーション本体にディスクをセットする

(☞ 『取扱説明書』16ページ)

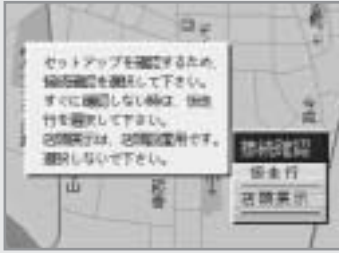
メモ

この後の操作は、次ページの説明をご覧ください。

を行う

接続を確認して、センサーリセットを行う

3Dハイブリッドセンサーが一度もリセットされていないと、次のような画面になります。
[接続確認] を選び、決定ボタンを押してください。以下の説明を参考にして本機の接続状態を確認します。



確認が終わったら、必ずセンサーリセットを行ってください。
(『取扱説明書』 22ページ)

接続確認画面の見かた

車速パルス：車速信号入力（ピンクリード線）の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば、車を走行させると「ピッ」と発信音がして、数字とバーが表示されます。数字とバーは本機が測定したパルス数をあらわしています。「ピッ」音とパルス数は速度によって変化します。車速パルスの確認は、低速（時速5km程度）で行ってください。

GPSアンテナ：GPSアンテナの接続状態を確認できます。正しく接続されていれば [OK] が、未接続の場合には [NG] が表示されます。

GPS感度：GPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。バーが1本以下の場合、GPSアンテナの位置を変えて2本以上バーが表示される位置に取り付けてください。

本体取り付け位置：ナビゲーション本体の取り付け状態を確認できます。[NG] が表示された場合は、測位の精度が悪くなります。車の振動が少ない位置にしっかりと取り付け、[OK] が表示されるのを確認してください。

パーキングブレーキ：パーキングブレーキスイッチ（青/黄リード線）の接続状態を確認できます。ブレーキペダルを踏んで、パーキングブレーキをかけ直してください。パーキングブレーキを解除すると [OFF] かけ直すと [ON] が表示されます。

イルミネーション：イルミ電源（黄リード線）の接続状態を確認できます。車のライトを点灯させてください。ライトを点灯すると [OFF] 消すと [ON] が表示されます。

ビーコンユニット：VICS用ビーコン受信機「ND-B2」（別売）の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば [OK] 未接続の場合には [NG] が表示されます。

バック信号：ND-PG1 接続時のみ使用 バック信号入力（紫リード線）の接続状態を確認できます。本機は、内蔵の3Dハイブリッドセンサーにより車の前進/後退を判断することができますので、紫リード線は、通常は接続しません。

車速パルス発生機「ND-PG1」を接続した場合は、ND-PG1 接続時のみ使用 バック信号入力を必ず接続してください。接続したら、パーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏んでから次の操作を行ってください。

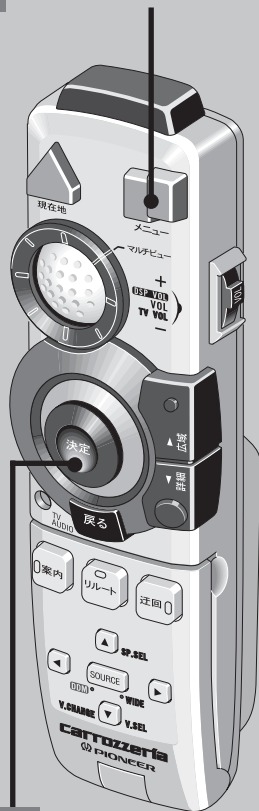
シフトレバーをR（リバース）の位置からR（リバース）以外の位置にすると車の絵の向きが左右反転されます。

画面の表示が記載されているようにならなかった場合は、正しく接続されていません。もう一度、接続に間違いがないか目で見て確認してください。

接続の確認とナビゲーションの設定

3Dハイブリッドセンサーのリセットが終わったら、[設定を変える - 初期設定 - その他の初期設定] のメニューでナビゲーションの設定を行ってください。

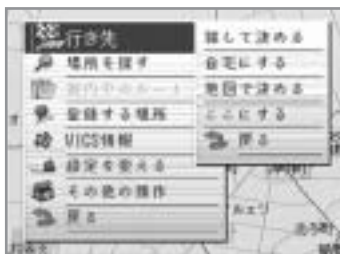
1 メニューボタン



2 ジョイスティックと

3 決定ボタン

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる



2 [設定を変える] を選び、決定ボタンを押す



3 [初期設定] を選び、決定ボタンを押す



メモ

この後の操作は、次ページ以降の説明をご覧ください。

テレビの設定を行う

[その他の初期設定] を選び、決定ボタンを押します。

ナビゲーション画面のサイズ設定を行う

[画面表示サイズ] を選び、接続したTVモニターに応じて [ノーマル] [ワイド] のいずれかを決定ボタンを押して選びます。(初期設定は [ワイド] になっています。)

通常(画面の縦横比が4:3)のTVモニターの場合:

[ノーマル] を選びます。

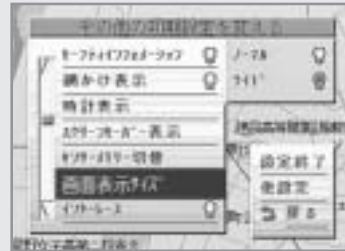
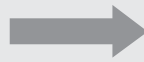
ワイド(画面の縦横比が16:9)のTVモニターの場合:

[ワイド] を選びます。(パイオニア製ワイドTV「TV-W818」を接続した場合は、[ワイド] のみの設定になります。)

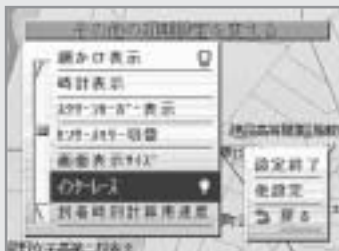
インターレースの設定を行う

[インターレース] を選び、接続したTVモニターに応じて [ON] [OFF] のいずれかを決定ボタンを押して選びます。(初期設定は [OFF] になっています。)

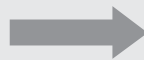
通常は [OFF] のままでご使用いただけますが、他社製TVやパイオニア製の通常(画面の縦横比が4:3)のTVモニターでは [ON] に設定したほうが見やすい場合があります。[ON] [OFF] を見やすいほうに設定してください。



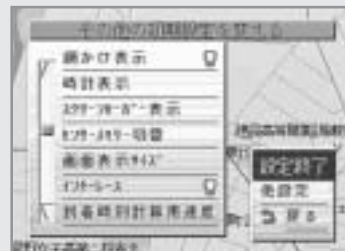
決定ボタンを押すたびに設定が変わります。



決定ボタンを押すたびに設定が変わります。



設定し終わったら



[設定終了] を選び、決定ボタンを押します。

接続の確認とナビゲーションの設定を行う (つづき)

ミュートの設定を変更する

オーディオミュートの設定を変更したいときは

本機をパイオニア製のカーステレオと組み合わせ、ミュート(黄/黒リード線)を接続すると、カーステレオのオーディオ出力にミュート(アッテネート)をかけられます。これはナビゲーションの音声案内を聞き取りやすくしたり、音声認識率を良くするときに使います。

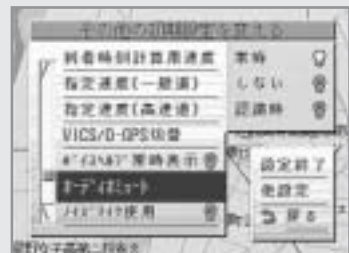
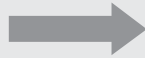
[その他の初期設定] を選び、決定ボタンを押します。

次に、[オーディオミュート] を選び、決定ボタンを押して項目を選びます。

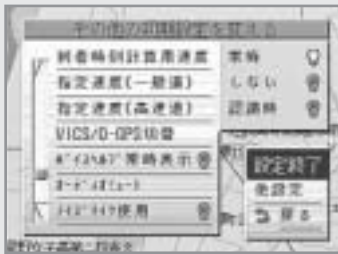
ナビゲーションの音声案内が行われるときにカーステレオにオーディオミュートをかけたい場合：[常時] を選びます。

カーステレオにオーディオミュートをかけたくない場合：[しない] を選びます。

音声操作時のみにカーステレオにオーディオミュートをかけたい場合：[認識時] を選びます。



設定し終わったら



[設定終了] を選び
決定ボタンを押します。

決定ボタンを押すたびに設定が変わります。

「DEH-P707」と組み合わせ、ガイド音声入力を接続したときは、ガイド音声もミュートされてしまいますので、必ずオーディオミュートの設定を [しない] にしてください。



